

平成 29 年度事業報告

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

社会福祉法人 上田市社会福祉協議会



- 目 次 -

総括	1
法人運営事業	2
善意銀行	5
企画・広報事業	13
社協お結びサポーター事業	14
希望の旅事業 / 上田市ファミリー・サポート・センター事業	15
福祉推進事業	17
点字・声の広報発行事業	18
日常生活自立支援事業	19
地域ふれあい事業	20
上小圏域成年後見支援センター事業	22
“まいさぼ上田”上田市生活就労支援センター事業	24
有償在宅福祉サービス事業	26
丸子高齢者サービスセンター事業 / 相談事業	28
貸付事業	31
ボランティア地域活動センター事業	33
地域子育て支援拠点事業	45
老人福祉センター事業	46
真田ふれあいバス運行事業	50
在宅介護者リフレッシュ事業 / みまもり（声かけ）訪問事業	51
施設管理事業	52
共同募金配分金事業	54
地域包括支援センター事業	55
通所介護事業	62
居宅介護支援事業	68
児童館事業	70
その他の事業	73

総括

現在、人口の減少や少子高齢化の進展により国の施策は分権型社会へと移行し、地域に根差し、地域の特性を活かした総合的・包括的な取り組みが進められている。

平成 29 年 4 月施行の社会福祉法の改正に伴い、事業運営の透明性の向上及び財務規律の強化、社会福祉法人の経営管理が今まで以上に求められることから、人事評価体制を整え組織の活性化に努めた。

国が目指す地域共生社会の実現に向けて、地域住民の参加や多様な主体による支え合いの必要性が求められる中、地域の住民同士を結び、地域と社協をつなぐ「社協お結びサポーター」の配置拡大に向けて新たに 2 地区に配置し、地域住民の多様な課題解決に取り組むため、自治会長、民生委員・児童委員、福祉推進委員、社協お結びサポーター、ボランティア団体等と連携し地域の基盤整備を図った。

また、地域包括ケアシステムの構築に向けた総合事業が開始し、個別支援・地域支援共に地域包括支援センターの責任と役割が増したことから、行政をはじめ医療機関ほか関係機関との連携を強化し体制づくりに努めた。

生活困窮者をはじめ日常生活に課題を抱えた市民に対しては、支援ネットワークの強化を図り支援メニューを拡げながら、包括的かつ寄り添い型の自立支援を行った。

介護保険事業においては、職員の資質向上と質の高いサービスの提供を目標に、できる限り住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、社会資源も含めた総合的な支援の在り方を基本に個別対応に取り組んだ。事業経営においては、介護職員の人材確保が厳しい状況にある中で、経営状況のバランスを見ながら安定に向けた事業運営を行った。

今後も、地域住民のニーズを的確にとらえ世の中の動向を見据えながら、社会福祉協議会としての使命を意識し、受託事業の充実と安定した事業経営の展開を目指して取り組んでいきたい。

1 法人運営事業

(1) 法人運営事業

ア 理事会、評議員会

理事会	第 49 回 H29. 5. 30	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年事業報告及び社会福祉事業決算について 評議員会の開催について
	第 50 回 H29. 6. 15	<ul style="list-style-type: none"> 正副会長及び常務理事の選任について 顧問の委嘱について
	第 51 回 H29. 9. 6	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度社会福祉事業第 1 次補正予算について 上田市社会福祉協議会規程等改正基準について
	第 52 回 H30. 3. 19	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度社会福祉事業第 2 次補正予算について 平成 30 年度事業計画及び資金収支予算について 定款変更について 経理規程の変更について 正規職員以外の職員就業規則の変更について 組織規則の変更について 第 31 回評議員会の開催について
評議員会	第 30 回 H29. 6. 13	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度事業報告及び社会福祉事業決算について 理事、監事の選任について
	第 31 回 H30. 3. 26	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度社会福祉事業第 2 次補正予算について 平成 30 年度事業計画及び資金収支予算について 定款変更について

イ 会 議 監査、正副会長会、民生委員・児童委員協議会役員会及び地区定例会、地区社協正副会長会議、市町村事務局長会議、市町村社協トップセミナー、介護保険関係会議、信州上田医療センター地域医療諮問委員会、県長寿社会開発センター上小支部運営委員会、第 3 次上田市地域福祉計画及び上田市地域福祉活動計画策定委員会、上田市障害者施策審議会、日本福祉教育ボランティア学習学会実行委員会 他

ウ ブロック会議 上小ブロック社協連絡会議、上小ブロック社協職員研修会 他

エ 研 修 会 市町村社協役職員研修会、人権を考える市民の集い、地域福祉推進リーダー推進事業会議、社協経理研修会、日常生活自立支援事業専門員・支援員研修会、日常生活自立支援事業推進会議、上小圏域介護保険事業者連絡協議会、介護支援専門員研修会、苦情対応システム研修会 他

オ 職員研修 新人職員研修会、介護・包括関係者職員研修会、上田市社協職員経理研修会、AED 研修、上田市内社会福祉法人施設見学

職員有資格者数

資格の種類	人数
社会福祉士	27人
介護福祉士	30人
主任介護支援専門員・介護支援専門員	29人
保健師・看護師	10人
教諭・保育士	65人

カ 視 察(受入れ・訪問)

(ア)受入れ

6月5日(月) 岐阜県大垣市宇留生地区社協

6月9日(金) 石川県金沢市小立野地区民児協

11月27日(月) 群馬県みどり市大間々地区福祉部会長会

(イ)訪問

10月31日(火)、11月1日(水) 栃木県佐野市社協(上田市社協役職員)

キ 大 会

(ア) 上田市社会福祉大会

10月5日(木) サントミュージゼ大ホール 参加者 約1,200人

内 容 ○式 典…表彰者 26人、5団体

感謝状 2人、6団体

○アトラクション「沖縄・八重山民謡」

演奏グループ あやばに

○講 演「どうなる日本の政治と経済」

講 師 橋本 五郎 氏(読売新聞特別編集委員)

(イ) 長野県社会福祉大会

9月13日(水) 佐久市コスモホール(佐久市下小田切124番地1)

上田市から36人参加

内 容 ○大会式典、表彰、共同募金に対する謝辞、実践報告

表彰者(上田市のみ)

・長野県社会福祉協議会会長表彰

(ボランティア表彰): 羽田 道夫

(ボランティア団体表彰): 上田城クリーンアップクラブ、笑いのワ

・長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰

(永年勤続民生委員児童委員表彰)

小岩井 礼子、小林 誠、佐納 美和子、古川 友枝、山岸 栄子

(永年勤続民児協会会長表彰): 鷹野 良信、増田 宗彦

(優良単位民児協表彰): 上田市北部地区民生児童委員協議会

○講 演 『笑顔の地域活動～落語家が語るコミュニケーションの極意～』

ク 社協会費

全市民の会員会費制による社協会費は貴重な財源であり、広く地域福祉活動に活用した。

会費種類	29年度社協会費納入実績		28年度 納入実績	27年度 納入実績
	金 額	備 考	金 額	金 額
普通会費	23,587,331円	44,101世帯	23,648,060円	23,494,697円
特別会費	1,924,000円	1,906人	1,993,500円	2,217,000円
法人会費	2,425,136円	397法人	2,292,000円	2,246,568円
団体会費	167,000円	104団体	153,000円	156,000円
合 計	28,103,467円		28,086,560円	28,114,265円

ケ 苦情解決第三者委員会

(ア) 委員会

開催日 7月20日(木) 上田市ふれあい福祉センター役員室

苦情件数 13件

(イ) 平成29年度苦情対応システム研修会

開催日 10月23日(月) 長野市若里市民文化ホール 9人参加

10月30日(月) キッセイ文化ホール 20人参加

コ 福祉人材の育成

社会福祉実習受入 4人

サ 社協出前講座

自治会や団体等から依頼があり、社協職員が講師として出向いた。

	回 数	主催者
有償在宅福祉サービスについて	1回	荒井自治会
障がいのある人の理解と体験	1回	御所福祉推進会
いきいき体操	9回	緑ヶ丘西自治会、赤坂自治会、竹室自治会、御所福祉推進会、下原自治会、出早自治会、大日向自治会、上沢自治会、八舞自治会
タオル犬作り	4回	赤井自治会、上沢自治会、荒井自治会 緑ヶ丘西自治会
介護保険制度について	2回	下和子長寿会、山口福祉推進委員会
うさたまの出張	1回	長島ひまわり会

2 善意銀行

個人、団体、法人等の皆さんから、金品を御寄付いただき、社会福祉活動に役立たせていただいた。

金銭寄付

月 日	金 銭	氏 名	備 考
5月24日	15,520	上田山草会	
6月9日	200,000	清水渉	指定寄付 丸子地域へ
6月13日	30,075,244	故 甲田理絵子	
6月21日	6,500	中塩田小学校 5年2組、3組8人 てづくりSHOP	指定寄付 ALS協会長野県支部へ
7月11日	10,000	匿名	指定寄付 丸子地区センターへ
7月20日	30,000	諏訪形自治会	九州北部大雨災害義援金として
7月25日	20,000	上塩尻自治会	九州北部大雨災害義援金として
7月26日	24,500	小牧自治会	九州北部大雨災害義援金として
8月3日	26,969	16日会	
8月16日	20,000	秋和自治会	九州北部大雨災害義援金として
8月17日	5,000	匿名	九州北部大雨災害義援金として
8月17日	13,687	西塩田夏まつり実行委員会	指定寄付 塩田西小学校へ
8月15日	4,635	上田市社協 真田地区センター	九州北部大雨災害義援金として
8月21日	6,012	上川原柳町自治会 下川原柳町自治会	九州北部大雨災害義援金として
8月22日	10,000	沢田自治会	九州北部大雨災害義援金として
8月25日	11,977	築地自治会	九州北部大雨災害義援金として
8月25日	120,000	匿名	
8月28日	49,948	ビューティーサロンさつき	
8月29日	10,000	下常田自治会	九州北部大雨災害義援金として
8月18日	41,000	御所自治会	九州北部大雨災害義援金として
8月29日	132,900	別所温泉自治会連合会	九州北部大雨災害義援金として
8月30日	10,000	新屋自治会	九州北部大雨災害義援金として
8月30日	1,393	たちばな幼稚園保護者会	九州北部大雨災害義援金として
9月4日	47,482	愛宕町自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月4日	52,123	社協職員	九州北部大雨災害義援金として
9月4日	34,500	金井自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月5日	50,000	朝日ヶ丘自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月1日	20,000	依田自治会連合会	九州北部大雨災害義援金として
9月4日	10,000	石井自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月5日	50,000	横尾自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月6日	30,000	国分自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月6日	37,500	平井寺自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月7日	97,856	千曲町自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月8日	40,000	長島自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月8日	15,000	みすず台南自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月8日	10,000	下堀自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月8日	5,000	上原自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月11日	380,000	匿名	
9月11日	4,542	生塚自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月13日	30,000	下紺屋町自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月13日	20,000	黒坪自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月19日	40,000	中村自治会	九州北部大雨災害義援金として

9月19日	20,000	緑が丘自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月22日	70,000	山口自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月22日	30,000	大日向自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月25日	32,006	常盤町自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月25日	10,000	半過自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月26日	47,000	柳沢自治会	九州北部大雨災害義援金として
9月26日	93,326	石神自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月2日	10,000	海野町自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月2日	3,000	上鍛冶町自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月2日	92,200	鈴子自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月2日	20,000	入軽井沢自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月3日	13,519	丸子ゴルフ大会実行委員会	
10月4日	6,600	東五加自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月10日	2,400	須川自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月10日	10,000	上紺屋町自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月10日	19,000	上室賀自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月10日	30,000	中丸子自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月11日	7,000	浦野南団地自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月12日	46,900	手塚自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月12日	44,000	下原自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月13日	25,000	岩下自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月13日	5,000	藤之木自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月18日	10,000	下郷沢自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月18日	30,000	中原自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月19日	5,000	下室賀自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月20日	20,000	越戸自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月20日	27,232	緑が丘西自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月20日	2,605	藤林一郎	
10月23日	30,000	岩門自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月23日	100,000	中之条自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月24日	60,000	匿名	
10月24日	50,000	吉田自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月24日	30,000	富士山中組自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月25日	20,000	下組自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月25日	4,650	つくしの会	
10月26日	115,009	下之郷自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月27日	10,000	下青木自治会	九州北部大雨災害義援金として
10月30日	16,243	自彊術B	
10月30日	12,000	みすず台北自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月2日	129,739	下之条自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月6日	10,000	のんびりカフェ	
11月6日	10,000	丸堀自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月6日	10,000	浦野自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月2日	10,800	荻自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月8日	22,600	小井田自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月1日	28,400	小沢根自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月7日	97,381	たんぽぽ文庫	指定寄付 真田図書館へ
11月15日	32,150	丸子山野草クラブ	指定寄付 丸子地域へ
11月16日	30,000	海戸自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月20日	15,000	久保林自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月20日	16,000	上青木自治会	九州北部大雨災害義援金として

11月21日	4,850	下小島自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月21日	20,000	下長瀬自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月17日	11,500	出早自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月20日	40,000	大畑自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月24日	6,160	上田山草会	
11月27日	35,000	東部地区自治会連合会 (踏入、泉町、上常田、中常田、 北常田、材木町、常入 7自治会)	九州北部大雨災害義援金として
11月27日	5,850	下本郷自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月27日	44,100	奈良尾自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月28日	5,000	上堀自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月28日	30,000	竹の会	九州北部大雨災害義援金として
11月28日	11,909	匿名	
11月27日	20,000	下丸子自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月29日	53,590	学校法人 上田煌桜学園 さくら国際高等学校	
11月24日	100,000	匿名	
11月29日	30,000	竹室自治会	九州北部大雨災害義援金として
11月30日	30,000	大手町自治会	九州北部大雨災害義援金として
12月1日	7,788	下之条自治会	九州北部大雨災害義援金として
12月1日	50,562	野竹自治会	九州北部大雨災害義援金として
12月4日	39,000	長野県理容生活衛生同業組合上小支部	
12月4日	9,000	第十二教区曹洞宗青年会	
12月5日	10,000	匿名	
12月8日	10,500	湯本昭一	
12月11日	229	匿名	
12月11日	28,800	曲尾自治会	九州北部大雨災害義援金として
12月18日	20,129	上田市商工会青年部	
12月19日	7,500	匿名	
12月21日	23,994	柳澤政次	福島県双葉町義援金として
12月27日	33,000	上田西ロータリークラブ	
12月27日	10,000	ステップアップ	
12月27日	15,000	ダンスサークルMSW	
1月4日	55,915	下之条カラオケクラブ	
1月9日	20,000	日本基督教団 上田新参町教会	
1月9日	60	匿名	台風21号災害義援金として
1月26日	30,000	イムマヌエル上田キリスト教会	
2月13日	39,067	上田菜園クラブ	指定寄付 JA信州うえだ福祉課へ
2月21日	10,000	匿名	
2月27日	17,153	上田友の会	
2月28日	10,000	匿名	指定寄付 モチーフの会へ
3月9日	5,250	中央公民館陶芸クラブ	
3月22日	10,000	下川弘子	指定寄付 上小圏域障がい者総合支援センターへ
3月22日	7,149	丸子北小学校3学年	九州北部大雨災害義援金として

物品寄付

月日	物 品	氏 名	備 考
4月3日	紙おむつ	田中剛	
4月3日	使用済切手	上田間税会	
4月4日	糸糸	匿名	
4月4日	車いす1台	倉島浩	
4月4日	糸糸	匿名	
4月5日	作業着30着	株式会社メカニカル	
4月14日	毛布3枚	匿名	
4月24日	糸糸	匿名	
4月26日	書き損じはがき15枚 未使用はがき33枚 航空書簡4枚 未使用切手 20円17枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
5月1日	使用済切手 未使用年賀はがき5枚	匿名	
5月8日	介護用パンツ1袋	黒岩誠	
5月8日	古布	匿名	
5月8日	大人用おむつ	匿名	
5月8日	玄米30kg	匿名	
5月10日	糸糸	匿名	
5月11日	タオル50枚 シーツ50枚	カフェラウンジ ポプラ	
5月11日	使用済切手	匿名	
5月15日	糸糸	匿名	
5月17日	シャワーチェア1台	匿名	
5月18日	糸糸	匿名	
5月19日	敷きパット2枚 シーツ1枚 掛け布団カバー1枚	匿名	
5月19日	玄米60kg	匿名	
5月24日	糸糸	匿名	
5月24日	オムツ2箱	匿名	
5月25日	日本の歌カセットテープ120曲セット1つ	杉崎正義	
5月29日	未使用はがき750枚	匿名	
5月29日	未使用切手 50円10枚、10円1枚 5円2枚、1円2枚 80円2枚 書き損じはがき35枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
6月2日	ポータブルトイレ1台	匿名	
6月8日	未使用はがき 52円12枚 50円34枚 書き損じはがき11枚	市川安男	
6月9日	糸糸	匿名	
6月13日	フリースブランケット 20枚 キャットミルク 270g缶2缶	手塚結菜	指定寄付 一匹でも犬ねこを救う会へ

	子猫用フード 70g×16個 折りたたみゲージ1つ 小型～中型		
6月13日	土地・家屋	故 甲田理絵子	
6月20日	糸	匿名	
6月22日	歩行器1個 ポータブルトイレ1台 消臭液5個 介護用食品56袋	匿名	
6月28日	おむつ 4パック	匿名	
6月29日	未使用年賀はがき21枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
7月10日	糸	匿名	指定寄付 モチーフの会へ
7月11日	糸 おむつ3袋 尿取りパット1袋	匿名	
7月19日	糸	匿名	
7月20日	ボックスティッシュ 44箱 トイレトペーパー 12ロール×18袋 おむつ3袋 下着7袋	匿名	
7月22日	鮎200匹	シマノジャパンカップ 鮎釣り選手権大会参加者 (株式会社 シマノ埼玉営業所)	指定寄付 社会福祉施設へ
7月26日	使用済切手	匿名	
7月31日	未使用年賀状26枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
8月3日	キャビネット一式	匿名	指定寄付 高齢者福祉センターへ
8月10日	ポータブルトイレ1台	匿名	
8月10日	糸 ストッキング16個	匿名	
8月17日	糸	匿名	
8月22日	タオル、シーツ類61点	匿名	
8月24日	未使用切手 7円4枚、10円3枚 20円2枚、40円2枚 41円4枚、62円2枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
8月22日	もち米15kg	匿名	
8月25日	介護用品 排尿器、吸い飲み、タ フデント、体温計、プ ラスチックスプーン セット 各1つ	匿名	
8月28日	タオル 書き損じはがき45枚 未使用はがき20枚 ペットボトルフタ 使用済切手	ビューティーサロンさつき	
8月28日	使用済切手	匿名	

8月31日	ガーゼ布	匿名	
9月1日	タオル類 83枚	匿名	
9月4日	毛糸	匿名	
9月7日	手作りバッグ	匿名	
9月11日	マットレス1枚 バスタオル1枚	匿名	
9月14日	毛糸、タオル おむつ4袋	匿名	
9月15日	お米 10kg	磯野富喜子	
9月20日	文房具 22点 クレヨン4箱 メモ帳6冊 筆箱3つ 絵筆9セット	匿名	
9月20日	使用済切手	匿名	
9月21日	お米(モミ) 140kg	匿名	
9月25日	未使用切手 10円20枚、20円3枚 7円3枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
10月2日	未使用年賀はがき 30枚	匿名	
10月4日	防水シート 2枚	匿名	
10月5日	食料品 42点 (味のり、ふりかけ、 お茶漬け 他)	匿名	
10月10日	未使用切手 62円 100枚	はぎわら美容室	
10月10日	使用済切手	匿名	
10月11日	毛糸	匿名	
10月11日	毛糸	匿名	
10月13日	タオル 200枚	匿名	
10月17日	食品 3点 缶詰 2缶、レトルト食 品 1つ	匿名	
10月17日	鍋 2つ	匿名	
10月17日	シート 39枚	匿名	
10月18日	使用済切手 1kg	匿名	
10月19日	毛糸	山岸 直子	
10月20日	使用済切手	匿名	
10月23日	毛糸	匿名	
10月23日	毛糸	匿名	
10月23日	白米 7kg	匿名	
10月24日	ラジカセ、シート カセットテープ、 タオル、バスタオル、 介護シャツ、ソックス、 クッション	匿名	
10月26日	使用済切手	匿名	
10月26日	玄米 60kg	匿名	指定寄付 神川デイへ
10月30日	未使用はがき 3枚 書き損じはがき 1枚 未使用切手 1円 23枚、5円 28枚 7円 18枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ

10月30日	毛糸	匿名	
10月31日	使用済切手	中之条簡易郵便局	
10月31日	タオル	匿名	
11月7日	洗濯機1台 CD・DVDコピー機1個 車いす1台 ポータブルトイレ1台 ファンヒーター1台	美し信州建設(株)	指定寄付 グループホーム諏訪形 音の散歩道 就労支援センターせせらぎ 一期一会
11月7日	文房具一式	匿名	
11月10日	毛糸	匿名	
11月10日	毛糸	匿名	
11月14日	毛糸、下着類19点	匿名	
11月21日	車いす1台	一般財団法人 信越郵便局長協会	指定寄付 真田地区センターへ
11月29日	お米30kg	匿名	指定寄付 丸子地域へ
12月1日	毛糸20玉	匿名	
12月4日	雑巾12枚 タオル68枚	長野県理容生活衛生同業組合	
12月5日	毛布1枚 防寒着1着 履物4つ ラジカセ1つ	匿名	
12月5日	毛糸	匿名	
12月1日	じゃがいも3箱 キャベツ4玉 白菜1玉	匿名	
12月8日	未使用切手 20円40枚、7円12枚 15円2枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
12月8日	記念切手12,580円分	湯本昭一	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
12月12日	タオル71枚 尿取りパット3袋 靴下14足	平出徹	
12月12日	使用済切手	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
12月12日	玄米60kg	匿名	指定寄付 丸子地域へ
12月13日	りんご15kg6箱	匿名	
12月13日	手作り小袋 手編み靴下カバー	匿名	
12月14日	使用済切手 未使用はがき ベルマーク	匿名	
12月19日	衣類、靴、マスク、 滑り止めマット、色紙	匿名	
12月22日	書籍 (コミック本120冊、 児童書92冊)	株式会社バリューブックス	指定寄付 神川児童センターへ
12月25日	白米25kg 乾麺詰め合わせ	匿名	指定寄付 丸子地区へ
12月26日	車いす2台	「小さな親切」運動上田支部	

12月26日	大人用おむつ4袋	匿名	
1月5日	使用済切手	かがやき21	
1月9日	未使用切手 10円104枚 2円114枚 80円100枚 82円86枚 120円50枚	匿名	指定寄付 上田ボランティア連絡協議会へ
1月12日	おむつ3袋 パット5袋 防水シート 使い捨て食事用エプロン	匿名	
1月15日	座布団15枚	匿名	
1月18日	テレビ(32型)	匿名	指定寄付 高齢者福祉センターパソコン教室へ
1月19日	使用済切手	匿名	
1月29日	未使用切手 100円10枚 20円2枚 80円1枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
1月29日	使用済切手	匿名	
1月29日	リハビリパンツ4袋 Yシャツ1着	匿名	
1月30日	使用済切手	上田市赤十字奉仕団	
2月7日	広報音訳のための 機器(パソコン、ソフト、マイク)各1つ	上田東ロータリークラブ	指定寄付 音の散歩道へ
2月9日	使用済切手 1.8kg	匿名	
2月14日	毛糸	匿名	
2月15日	タオル48枚	トラスコ中山(株)上田支店	
2月15日	毛糸	匿名	
2月14日	液晶テレビ40型1台 高齢者疑似体験用イヤードیفENDER 5つ 手首、足首用ウェイト 5セット	上田市丸子赤十字奉仕団・ 上田市連合婦人会(丸子)	指定寄付 丸子老人福祉センター 丸子ボランティア地域活動センター
2月21日	軽自動車1台	匿名	
2月21日	書籍173冊	株式会社バリューブックス	指定寄付 神科児童センターへ
2月23日	毛糸	匿名	
2月26日	未使用切手581円分 使用済切手	匿名	
2月26日	入浴剤2kg8袋	匿名	指定寄付 神川デイへ
2月27日	お米30kg7袋	匿名	指定寄付 丸子地域へ
3月2日	年賀はがき12枚 未使用切手 5円20枚、7円15枚 10円20枚、20円20枚	新田長生会サロンこすもす	指定寄付 ボランティア地域活動センターへ
3月6日	年賀はがき52枚	匿名	
3月6日	フェイスタオル	匿名	
3月7日	車いす1台	上田ライオンズクラブ	

3月7日	電動ベッド1台	匿名	指定寄付 神川デイへ
3月8日	書籍338冊	株式会社バリューストックス	指定寄付 朝日が丘児童館へ
3月8日	パズル等	神川小学校児童会	指定寄付 神川デイへ
3月9日	毛糸	匿名	
3月13日	毛糸、浴衣	竹花昌子	
3月14日	使用済切手 書き損じはがき70枚 タオル6枚	上田商工会議所女性会	指定寄付 タオル： アーチメディカルサポートへ
3月16日	使用済切手	上田市立第三中学校生徒会	
3月16日	使用済切手	日高精機株式会社	
3月22日	使用済切手	長瀬郵便局	
3月27日	使用済切手	社会福祉法人 敬老園 うえだ敬老園	
3月28日	ボディスポンジ	匿名	
3月29日	使用済切手	匿名	

金銭寄付合計	34,329,103円
(内 九州北部大雨災害義援金)	(2,557,231円)
物品寄付合計(金額換算)	9,531,472円
寄付合計	43,860,575円

法人運営事業の評価等

社会福祉法の改正から新たな任期による理事・評議員が選任され、滞りなく組織運営を行えた。

経営組織においてはガバナンスの強化や事業運営の透明性、また、経営管理においては事業の見直しを行うとともに、安定と充実を図るための人材確保と経費節減による事業改善に努めた。

職員研修では、個々の意識と意欲を高めることを目的に他法人への視察を取り入れた。また、自発的な資格取得の支援など、職員全体の底上げと組織力の向上に努めた。

会費納入については、回覧文書や広報紙を通じて会員制度に基づき理解を得られるよう努め、例年並みの一定の納入額に達成することができた。

3 企画・広報事業

広報事業

ア 「社協うえだ」の発行 社協のPRとして、また福祉に関する情報源として、福祉講座やイベントの開催、また各地域で行われている福祉活動の様子などを偶数月に発行し、市内全世帯をはじめ、学校関係や社協法人会員の皆さまへ毎回58,000部を配布しお知らせした。

イ 「社協ホームページ」の活用

社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、社協職員の募集等、様々な情報を発信した。

ウ 「うさたま着ぐるみ」の活用

・うえだ市民ふれあい広場、ふれあい広場 in さなだ、上田市社会福祉大会等において市

民とふれあった。

エ 「上田市社協オリジナルカレンダー」の作成

うさたまをテーマにしたカレンダーを作成し、自治会をはじめ、関係機関や社協法人会員へ1,400部配布した。

オ エンディングノート「絆」の販売及びセミナーの開催

・各地区センター窓口の他、市内書店に依頼し、3カ所の書店でも販売を行った。

販売数 90冊（内書店販売数 33冊）

書き方セミナー 10月31日（火）城南公民館 参加者 17人

カ うさたまグッズの作成

・うさたまオリジナルうちわ500枚を作製し、上田わっしょいの際に市民に配布した。

企画・広報事業の評価等

広報をとおして社協事業の紹介や講座、イベント等タイムリーに情報を発信し、社協に対する市民の理解を得られるような紙面やホームページを心がけた。キャラクターの“うさたま”が地域のイベントに昨年度より多く招かれ、徐々に認知度が上がっている印象を受けた。一定の広報の効果ではないかと思われる。

また、エンディングノートは販路を拡大し、市内の書店3カ所での販売が可能となり販売効果をあげることができた。ただ、新たな企画の部分では、構想を具体化することができなかったため、来年度以降の課題として引き継ぎ取り組んでいきたい。

4 社協お結びサポーター事業

少子高齢に象徴される人口構造の変化から、地域社会の中では、さまざまな福祉課題が顕在化しており、今後ますます必要とされる住民同士によるふれあい、支え合いの仕組みづくりをお手伝いするために、平成28年度から丸子・真田・武石の3地区をモデル地区として「社協お結びサポーター」を配置し、29年度については、新たに城下地区、豊殿地区の2地区に配置した。

お結びサポーターは地域の福祉ニーズは何か、どんな福祉サービスが必要かを一緒に考え、人と人を結ぶ、人と地域を結ぶ、人と機関を結びつけるお手伝いをする。

城下・豊殿・丸子・真田・武石地区内の自治会への訪問 43自治会 活動回数 121回

お結びサポーター連絡会議 6月21日（水）、11月8日（水）

5 希望の旅事業

日ごろ外出する機会の少ない重度障がい者とその介護者が、さまざまな土地の季節や風土、伝統を肌で感じ、また多くの人々とふれあい、社会参加することで生きがいを高め、より豊かで潤いのある生活を送ることを目的に実施した。

期 日 10月24日(火)、25日(水)

場 所 静岡方面

参加者 20人(障がい者10人、介護者10人)

6 上田市ファミリー・サポート・センター事業(市受託事業)

上田市ファミリー・サポート・センター事業は、子育ての手助けをして欲しい人と子育てのお手伝いをしたい人が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織で、日常的な子育てのお手伝いのほか、子育てに関する講習会や会員相互の交流を深めるための交流会等も開催している。

ア 会員数

依頼会員 (上田市在住又は市内に勤務している方で、概ね3ヶ月から12歳の子どもをお持ちの方)

提供会員 (上田市在住で心身ともに健康で乳幼児及び児童の保育に熱意があり、自宅で子どもを預かれる方)

両方会員 (依頼・提供会員の両方出来る方)

イ 年間事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
活動回数(回)	103	124	145	140	141	117	116
活動時間(時間)	117.5	135.5	163.0	125.5	123.5	127.0	179.5
利用会員数(人)	31	29	30	33	26	29	20
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
活動回数(回)	108	120	105	101	127	1,447	
活動時間(時間)	154.0	142.5	137.0	135.5	140.5	1681.0	
利用会員数(人)	31	29	30	19	28	335	

年間事業実績推移

活動回数 (回)			活動時間 (時間)			利用会員数 (人)		
29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度
1,447	1,476	1,059	1,681.0	1,400	988.5	335	320	229

会員数の推移

依頼会員 (人)			提供会員 (人)			両方会員 (人)		
29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度
434	429	404	282	267	256	59	62	64

ウ 研修会及び会員交流会の開催

(ア) 前期講習会

期 日 5月18日(木)、19日(金)、24日(水)、25日(木)

受講者 60人(延べ人数)

内 容 ファミリー・サポート・センターの説明、子どもの事故と安全対策・救命入門コース、子どもの身体の発達と病気、子どもの食事・健康管理、チャイルドシートの着用、特別な支援を必要としている子どもへの対応、子どもの遊び、子どもの心の成長とその背景、保育の心・子どもの世話、サブリーダーとの交流

(イ) 後期講習会

期 日 10月12日(木)、13日(金)、18日(水)、19日(木)

受講者 76人(延べ人数)

内 容 ファミリー・サポート・センターの説明、車での送迎時の留意点とチャイルドシートの着用、子どもの身体の発達と病気、子どもの食事・健康管理、子どもの事故と安全対策・救命入門コース、特別な支援を必要としている子どもへの対応、子どもの遊び、子どもの心の成長とその背景、保育の心・子どもの世話、サブリーダーとの交流

(ウ) 第1回会員交流会

期 日 7月1日(土) 参加者 13人

内 容 「真田氏のルーツを探る」※雨天の為、真田総合福祉センターにて話を聞き、その後山家神社へ

(エ) 第2回会員交流会

期 日 9月5日(火) 参加者 14人

内 容 「体組成測定とヨガ」

(オ) 第3回会員交流会

期 日 12月16日(土) 参加者 23人

内 容 「突然のお預かりでもできるクリスマスレシピ」
～いつもの料理を簡単アレンジ～

(カ) 第4回会員交流会

期 日 1月19日(金) 参加者 20人

内 容 「絵本の読み聞かせと手遊び」

(キ) フォローアップ研修会

期 日 2月23日(金) 参加者 29人

内 容 「楽しい子育て・孫育て」今の子育てと昔の子育ての違い・0歳から3歳児の預りの留意点

7 福祉推進事業

ア 地区社協住民会議

地区社協住民会議は、地域住民が主体となって様々な問題を協議し、住民が相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すために開催されるものである。

地区	期 日	場 所	内 容	参加者
東部	11月20日(月)	東部地区防災センター	講演「認知症の取材と認知症の母を通して思うこと」	31人
南部	9月27日(水)	祥園	講演「認知症の取材と認知症の母を通して思うこと」	37人
中央	11月7日(火)	海野町会館	講演「江戸時代の城下町の人々」	66人
北部	11月15日(水)	魚よし	講演「認知症の人と共に地域で暮らしていくには」	64人
西部	10月27日(金)	西部公民館	西部地区ふれあい事業の事例発表	83人
城下	11月9日(金)	城下地区防災センター	講演「思いやりの在る地域づくり」	47人
塩尻	11月11日(土)	塩尻地区公民館	講演「蚕種が育んだ塩尻の文化と教育」	28人
川辺 泉田	11月7日(木)	川辺泉田防災センター	講演「認知症について」	82人
神川	10月21日(土)	神川地区公民館	講演「高齢者の明るい老後をかなえる地域を目指して」	100人
神科	9月2日(土)	上野が丘公民館	地域自治会福祉活動発表 講演「すこやかな老後を過ごすために パート2」	178人
豊殿	11月5日(日)	豊殿地域自治センター	講演「いつまでも誇りを持って住み続けたい」 ～住民とともに進める地域づくり「なかちゃん」～ グループワーク「豊殿でいつまでも誇りを持って住み続けるためには」	93人
塩田	11月13日(月)	塩田公民館	実践発表「スポーツで人と地域をもっとしあわせに」 ～上田市塩田平からげんき発信!～ 講演「長寿社会と自分らしく生きるために」	150人
川西	10月19日(木)	川西公民館	講演「高齢化時代を健康に過ごすために」	53人
丸子	11月22日(水)	丸子ふれあいステーション	講演「誰もが安心して暮らせる地域づくり」 ～私たちの一歩先を行く皆さんから学ぶ～	90人
真田	10月28日(土)	真田総合福祉センター	避難所運営ゲーム「HUG」について	95人
武石	11月18日(土)	武石公民館	講演「自然災害と防災について」 「武石地域における防災対策」	40人

福祉推進事業の評価等

【社協お結びサポーター】

本年度新たに 2 地区にお結びサポーターを配置することができた。民生委員・児童委員の定例会や社協うえだで紹介を行った。活動としては、各自治会への訪問に加え、自治会に対して住民支え合いマップの作成の働きかけや子育て支援事業の計画などに関わっていただいた。

また、お結びサポーターの連絡会も開催し、取り組み状況について情報共有を行った。住民自治組織や地区社協、福祉推進委員の方々などと連携を取りながら配置拡大に努めたい。

【ファミリー・サポート・センター事業】

事業の周知と会員拡大のため、民生委員・児童委員の定例会にて事業説明を行った。次年度以降も継続して行っていきたい。また、活動内容として車での送迎が多いため、後期講習会からは、従来の交通安全の内容に送迎時の留意点も加え事故防止に努めた。加えて、近年では低年齢児の預かりが増えていることからフォローアップ研修などの内容も見直し、安全に活動ができるよう心掛けていきたい。

【福祉推進事業】

各地区の住民会議では、講演会や地区内の地域ふれあい事業の事例発表が行われた。各自治会の役員、民生委員・児童委員、福祉推進委員等が集まる機会であるため、各地区の総会や住民会議が、お互いの活動についての情報交換の場になるよう実施した地区もあった。

各地区社協からは、高齢者の交通問題や買い物問題、少子高齢化の進行による地域の事業実施に支障が出つつあることや高齢化が進む中での地域活動の進め方等の課題があげられた。課題解決に向けた内容で住民会議等が計画されるように、あげられた課題を各地区担当職員にも周知していく。

8 点字・声の広報発行事業(市受託事業)

ア 市広報・議会だより、社協報の内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供した。

広報うえだ (月 2 回発行)	利用者	27 人
議会だより (年 4 回発行)	利用者	9 人
社協うえだ (隔月発行)	利用者	26 人
丸子自治センターだより	利用者	10 人

イ 声の広報

広報うえだ (月 2 回発行)	カセット	利用者	11 人
	CD	利用者	15 人
議会だより (年 4 回発行)	カセット	利用者	20 人
	CD	利用者	11 人
社協うえだ (隔月発行)	カセット	利用者	20 人
	CD	利用者	15 人

丸子自治センターだより カセット 利用者 9人

CD 利用者 2人

9 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

ア 日常生活自立支援事業

上小管内を対象に、認知症の高齢者や障がい者の方々に、判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助、また日常的な金銭管理のお手伝いをし、自立生活を支援した。

延べ件数の推移

内 容	29年度	28年度	27年度
認知症のお年寄りに関する相談	1,676件	1,624件	1,294件
知的に障がいのある方に関する相談	5,093件	2,914件	2,515件
精神に障がいのある方に関する相談	3,471件	3,623件	3,418件
その他(成年後見制度に関する問合わせ等)	37件	9件	6件
専門員訪問調査回数	284回	91回	103回
生活支援員援助回数	1,924回	1,905回	1,647回
新規契約数	9件	15件	25件
解約件数	10件	13件	10件
事業開始からの契約件数	206件	197件	182件
事業開始からの解約件数	125件	115件	102件
現在の利用者数	81件	82件	80件

イ 金銭管理・財産保全サービス

高齢者や障がい者の方々が地域で安心して日常生活を送れるように、日常的な金銭管理サービスや書類をお預かりし、生活の支援をした。

日常生活自立支援事業で補完できるため、廃止の方向で検討している。

契約件数

上田地区センター 0件

丸子地区センター 0件

真田地区センター 0件

武石地区センター 0件

10 地域ふれあい事業(市補助事業)

地域のさまざまな人々がお互いに助けあい交流することにより、住民の連帯感を高めそれぞれの地域の特性に応じた福祉サービスを住民参加により自主的に推進し、明るく活力ある福祉社会を創造し、近隣のつながりを補うことを目的として事業を実施した。

なお、この事業は、「ふれあいのまちづくり事業」として平成3年度から平成7年度までの5年間は、国の指定を受けて事業を進めた。指定終了後も、市の補助事業となり、平成15年から「敬老行事自治会委託事業」と統合され、名称が「地域ふれあい事業」となり、現在に至っている。

ア 自治会福祉活動の推進

<上田地区センター>活動内容

世代間交流	…… 96 自治会	調査活動	…… 1 自治会
マップ作り・更新	…… 11 自治会	広報・啓発活動	…… 8 自治会
福祉講座・健康講座	…… 26 自治会	茶話会	…… 49 自治会
会食会	……102 自治会	配食サービス	…… 3 自治会
交流会(児童)	…… 9 自治会	友愛訪問	…… 35 自治会
ボランティア活動	…… 2 自治会	施設視察・ボランティア	… 10 自治会
敬老会	……127 自治会	サロン・交流	…… 52 自治会
子育て支援	…… 1 自治会	環境整備	…… 32 自治会
その他	…… 22 自治会		

<丸子地区センター>活動内容

世代間交流	…… 25 自治会	マップ作り・更新	…… 2 自治会
福祉講座・健康講座	…… 18 自治会	茶話会	…… 5 自治会
会食会	…… 9 自治会	配食サービス	…… 8 自治会
友愛訪問	…… 15 自治会	敬老会	…… 26 自治会
サロン・交流	…… 8 自治会	広報啓発活動	…… 1 自治会
環境整備	…… 10 自治会	交流会(児童)	…… 13 自治会
施設視察・ボランティア	…… 4 自治会	その他	…… 14 自治会

〈真田地区センター〉活動内容

世代間交流	…… 8 自治会	福祉講座・健康講座	…… 33 自治会
茶話会	…… 17 自治会	会食会	…… 29 自治会
交流会(児童)	…… 4 自治会	友愛訪問	…… 17 自治会
施設訪問	…… 16 自治会	敬老会	…… 6 自治会
サロン	…… 36 自治会	その他	…… 21 自治会

〈武石地区センター〉活動内容

世代間交流	…… 10 自治会	福祉講座・健康講座	…… 2 自治会
茶話会	…… 0 自治会	会食会	…… 6 自治会
交流会(児童)	…… 4 自治会	友愛訪問	…… 1 自治会
施設視察・ボランティア	…… 1 自治会	敬老会	…… 0 自治会
サロン・交流	…… 18 自治会	環境整備	…… 6 自治会
その他	…… 4 自治会		

イ 住民支え合いマップづくりの取組み

住民支え合いマップは、地図上に災害時に高齢者や障がい者などで避難行動に支援が必要となる方々、いわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所、などの地域の資源などの情報を記載することにより、災害時の支援と日ごろの地域での支え合い活動、共助の仕組みづくりに活用するものである。

住民支え合いマップ作成実施自治会

災害時要援護者登録制度説明会開催自治会数	3 自治会 (合計 211 自治会)
協定書締結自治会数	3 自治会 (合計 167 自治会)
住民支え合いマップ完成自治会数	3 自治会 (合計 203 自治会)

ウ 福祉推進委員

「地域ふれあい事業」の推進役として福祉推進委員を各自治会から推薦いただき社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員と共に地域の実情に応じた様々な福祉活動を行っている。

- ・福祉推進委員連絡協議会 6月2日(水)、12月18日(月)
- ・福祉推進委員全体研修会 7月10日(月)
- ・福祉推進委員講習会 レクリエーション講座 3回
8月4日(金) 上田市ふれあい福祉センター
8月5日(土) 真田総合福祉センター

8月26日(土)	丸子ふれあいステーション
健康体操講座	3回
7月21日(金)	真田総合福祉センター
7月31日(月)	上田ふれあい福祉センター
8月19日(土)	丸子ふれあいステーション

地域ふれあい事業の評価等

地域ふれあい事業は、福祉推進委員を推進役として、地域の特性に応じた様々な活動が行われている。地域ふれあい事業の中で、住民支え合いマップに登録をしている要援護者と支援者を集めて近くの集会所でお茶会をするといった活動を行っていた自治会があった。地域ふれあい事業と住民支え合いマップとが一体的に取り組みられた活動であるため、他自治会にもこういった活動を周知し、マップの活用にもつなげていきたい。

福祉推進委員の全体研修会では「これからの地域のつながり方」をテーマに自治会の取り組みについて事例発表をしていただいた。会場に向け活動についての投げかけをし、カードをあげる方式で意見を募り、会場全体で情報の共有を図った。

地域活動での課題としては、男性参加者が少ない、参加者の固定化などがあげられている。内容の充実や運営方法の検討、他地区の活動紹介などし、多くの方が参加できるようにしていきたい。また、福祉推進委員の任期が終了した後も引き続き地域の盛り上げ役として協力していただけるよう依頼し、意識付けしていく。

住民支え合いマップは、多くの自治会が完成してきているが、活用や更新、引継ぎができていない自治会がある。今後は、完成したマップの活用や定期的な更新が行われるように事業展開をしていく必要がある。

1.1 上小圏域成年後見支援センター事業(4市町村受託事業)

平成24年4月から上田市、東御市、長和町、青木村の4市町村から委託され、上小圏域成年後見支援センターを開設した。認知症・精神障がい・知的障がいなどにより判断能力の不十分な住民が安心して地域で生活できるように成年後見制度の利用促進及び啓発を行い、成年後見制度支援体制の構築し、住民の権利擁護を推進した。

- (1) 住民、実務者等からの成年後見制度に関する相談・手続き支援及び行政職員等からの成年後見制度に関する相談・市町村長申立支援

ア 相談件数及び相談者の状況（単位：件）

		H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	合計
相談件数	1 新規相談	11	10	9	14	8	10	9	7	7	13	16	8	122
	2 継続相談	54	51	65	49	109	78	117	122	150	137	120	97	1149
	相談業務合計	65	61	74	63	117	88	126	129	157	150	136	105	1271
	3 法人後見業務総件数	199	267	448	408	431	472	494	591	583	486	566	844	5789
	総計	264	328	522	471	548	560	620	720	740	636	702	949	7060
方法別	1 来所	6	5	12	7	14	15	17	23	45	17	13	11	185
	2 電話	41	43	48	47	93	62	95	70	84	104	101	74	862
	3 訪問	8	10	14	6	7	9	13	27	13	24	17	16	164
	4 ケース会議	9	3	0	3	3	2	1	8	14	5	5	3	56
	5 その他	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
	合計	65	61	74	63	117	88	126	129	157	150	136	105	1271
対象者別	1 認知症高齢者	27	23	15	22	21	20	45	95	97	110	81	63	619
	2 知的障がい者	9	4	9	8	9	9	13	12	13	19	24	12	141
	3 精神障がい者	6	14	36	24	81	58	51	12	27	4	5	8	326
	4 身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	0	5	19
	5 複合	9	9	2	0	0	0	10	0	18	3	18	12	81
	6 任意後見	6	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	11
	7 その他	8	8	12	8	6	1	7	10	1	1	7	5	74
	合計	65	61	74	63	117	88	126	129	157	150	136	105	1271

相談件数の推移（単位：件）

	新規相談	継続相談	法人後見業務	合計
29年度	122	1,149	5,789	7,060
28年度	182	1,336	2,632	4,150
27年度	101	544	682	1,327

方法別の推移（単位：件）

	来所	電話	訪問	ケース会議	その他	合計
29年度	185	862	164	56	4	1,271
28年度	114	1,037	273	87	7	1,518
27年度	129	266	195	47	8	645

対象者別の推移（単位：人）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	複合	任意後見	その他
29年度	619	141	326	19	81	11	74
28年度	664	354	224	28	154	59	55
27年度	141	108	287	19	49	24	17

(2) 成年後見制度等の普及、啓発

説明会、講師依頼 7 件
参加者 325 人

(3) 市民後見人の養成

①市民後見人養成講座の開講

開催日 平成 29 年 8 月 19 日 (土) から 9 月 25 日 (月)
開催場所 長野大学
内 容 成年後見制度概論、現役市民後見人による実践報告他
参加者 220 人 (延べ人数)

②法人後見支援員の活動

平成 28 年度に市民後見人養成講座を受講し、全過程を修了した方の中から 5 人を選考し、法人後見支援員として委嘱した。職員と共に被後見人等への定期訪問や状況確認、預貯金の払戻しや支払い、ケース会議等にも出席していただき、実務経験を積んでいただいた。

(4) 成年後見人等第三者後見人の紹介・支援

弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士 他 41 件

(5) 法人後見の受任

法人後見 新規受任 15 件 (累計 41 件) 平成 30 年 3 月 31 日現在 受任数 33 件

成年後見支援センター事業の評価等

法人後見の受任が増え、後見人等としての業務が昨年度の 2 倍以上と激増した。各専門職団体や社会福祉協議会が法人として受任できる件数にも限りがあり、受け皿の確保が喫緊の課題である。

また、平成 26 年度から市民後見人養成講座を開講し、市民後見人の育成を行っている。平成 29 年度においては、市民後見人の誕生に向け家庭裁判所や関係機関との調整を図ってきたが、誕生には至らなかった。平成 30 年度早期の誕生に向け、体制整備に努めていく。

1 2 “まいさぼ上田” 上田市生活就労支援センター事業 (市受託事業)

平成 27 年 4 月から「生活困窮者自立支援法」が施行され、全国の福祉事務所設置自治体において生活困窮者に対する自立支援制度が実施された。この制度は、社会経済の構造的変化に対応し、これまで十分でなかった生活保護受給者以外の生活困窮者への支援を抜本的に強化するもので、上田市では上田市社会福祉協議会が 26 年度のモデル事業に引き続き委託を受け、上田市ふれあい福祉センター内に「上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”」を設置、28 年度からは任意事業である家計相談支援事業も受託し、主任相談支援員を兼ねた所長 1 人と相談就労支援員 3 人及び家計相談支援員 1 人を配置して生活困窮者に対する包括的な相談・支援を行った。

ア 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規相談者数(人)	18	21	26	10	20	19	
延べ相談者数(人)	92	82	114	99	103	105	
延べ相談件数(件)	305	419	480	437	376	402	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談者数(人)	17	20	15	18	22	17	223
延べ相談者数(人)	96	108	96	111	92	104	1,202
延べ相談件数(件)	386	415	338	364	372	426	4,720

相談者数及び相談件数の推移

新規相談者数 (人)			延べ相談者数 (人)			延べ相談件数 (件)		
29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度
223	264	296	1,202	1,208	960	4,720	5,829	4,940

“まいさぼ上田” 事業の評価等

“まいさぼ上田”では、平成26年度からの自立相談支援事業に加え、27年度からは住居確保給付金とコミュニケーション講座、28年度からは家計相談支援事業とフードドライブ、ひきこもりを対象としたしゃべり場に取り組み、支援メニューを拡げながら生活困窮者に対する寄り添い型の相談支援を行ってきた。29年度においては、ひきこもりの家族を支援するペアレントトレーニングを新たに実施し、更なる支援メニューの拡大に取り組んでいる。特にひきこもりや就労経験のない者、長期失業者等に対しては、本人の興味や適性の方向から再評価を行い就労に結び付くよう努めており、結果として毎年、国平均を大きく上回る就労支援実績をあげている。

モデル事業を含む4年間の事業を通して、関係機関や地域に対して一定程度の周知と理解が図られたと考えているが、本来が情報弱者である生活困窮者を対象とした事業であることから、支援から漏れる人のないよう、今後も周知活動への取り組みが必要と考える。

最近の支援対象者の動向を見ると、景気動向や求人倍率の上昇を受け新規の相談者数は減少傾向にあるが、自立に至るケースが少ないため相談者全体の数は減っていない。まいさぼの支援対象者については、障がいや能力だけでなく家庭状況や年齢、経験など複合的なハンディを抱えている人が多く、いきなり一般企業に就労することは難しいケースが多い。このため就労体験や基本的な就労訓練のできる場が必要であり、“まいさぼ”でも独自に開拓を進めているが、市内にはそうした場を提供してくれる企業がまだ少ない。このため今後は、行政とも協力しながら就労に至る準備段階のメニューを拡大していくことを優先課題とし、受け入れ先企業の拡大を行っていききたい。

1.3 有償在宅福祉サービス事業

ア 上田有償在宅福祉サービス事業（福祉移送サービス事業）

平成29年度 利用会員数 127人 協力会員数 13人

平成28年度 利用会員数 107人 協力会員数 13人

平成27年度 利用会員数 50人 協力会員数 10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	104	91	93	92	82	82	105	84	110	96	96	85	1,120
利用会員数(人)	26	21	24	24	26	21	29	21	25	22	23	21	283
協力会員数(人)	6	4	6	3	6	4	5	4	4	4	4	6	56

上田福祉移送サービスの推移

	29年度		28年度		27年度	
	延べ	月平均	延べ	月平均	延べ	月平均
利用回数(回)	1,120	93.3	1,203	100.2	1,089	90.7
利用会員数(人)	283	23.5	310	25.8	269	22.4
協力会員数(人)	56	4.6	51	4.2	72	6

イ 丸子有償在宅福祉サービス事業（福祉移送サービス事業）

平成29年度 利用会員数 30人 協力会員数 7人

平成28年度 利用会員数 49人 協力会員数 10人

平成27年度 利用会員数 49人 協力会員数 10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	38	41	32	39	32	24	16	18	31	25	32	26	354
利用会員数(人)	11	13	11	14	12	11	8	7	10	6	7	9	119
協力会員数(人)	4	7	5	5	5	4	4	4	5	4	4	6	57

丸子福祉移送サービスの推移

	29年度		28年度		27年度	
	延べ	月平均	延べ	月平均	延べ	月平均
利用回数(回)	354	29.5	675	56.2	784	65.3
利用会員数(人)	119	9.9	157	13	144	12
協力会員数(人)	57	4.7	52	4.3	58	4.8

ウ 真田有償在宅福祉サービス事業(福祉移送サービス事業)

平成 29 年度 利用会員数 6 人 協力会員数 7 人

平成 28 年度 利用会員数 18 人 協力会員数 7 人

平成 27 年度 利用会員数 18 人 協力会員数 7 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	4	4	4	8	4	7	6	9	7	7	7	5	72
利用会員数(人)	1	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	24
協力会員数(人)	3	3	4	2	3	3	4	4	3	3	3	2	37

真田福祉移送サービスの推移

	29 年度		28 年度		27 年度	
	延べ	月平均	延べ	月平均	延べ	月平均
利用回数(回)	72	6	93	7.75	89	7.4
利用会員数(人)	24	2	31	2.5	38	3.1
協力会員数(人)	37	3.08	43	3.5	31	2.5

エ ご用聞きサービス事業

上田市にお住まいの高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、日常生活を送る上で困っていることなどをご近所の助け合いや支えあいにより支援することを目的とした有償福祉サービスであり、平成 22 年 2 月 1 日から事業を開始した。現在、利用会員と協力会員とのマッチングを進め、多くの協力員の方に御協力をいただき活動を行っている。

	29 年度	28 年度	27 年度
協力会員の登録数(人)	53	49	47
利用会員の登録数(人)	98	93	88
利用回数(件)	193	299	270

【活動内容の内訳】

買物代行 64 件 風呂場の掃除 1 件 ゴミ出し 105 件
 草取り 11 件 雪かき 1 件 軽微な修繕 4 件
 その他(ストーブの給油、枝切り、家周りの片付け) 7 件

有償在宅福祉サービスの評価等

【福祉移送サービス事業】

毎年協力員の募集を行っているが、引き受け手が少なく次期の担い手不足が課題である。
また、免許返納者など現状の対象者以外の方への対応なども今後の課題と思われる。

【ご用聞きサービス事業】

定期的に事業を利用していただいていた方が施設入所し、利用回数が減少した。また、新規に利用希望があった際に協力会員登録がない自治会においては、自治会役員や民生委員・児童委員、福祉推進委員等に相談した所、自治会として支援することとなり、助け合う仕組みづくりにつながった。また、本事業を基に自主的に助け合いの仕組みを立ち上げた自治会もあり、今までご用聞きサービスでゴミ出しを行っていた方からの依頼をそちらに繋げたケースもあった。事業の周知と協力員の確保と共に自治会としての取り組みについても働きかけをしていく必要がある。

1 4 丸子高齢者サービスセンター事業(市受託事業)

介護認定を受けていない方を対象に、お互いに交流することにより生きがいを高め、レクリエーションや体操等、介護予防をすることを目的として実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	59	58	68	52	65	53	51	53	51	44	46	58	658

利用者の推移

	29年度	28年度	27年度
利用者数(人)	658	721	769

1 5 相談事業

(1) 上田相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：244日
- ・相談件数：88件
- ・相談内容：家族のこと、生活（借金）のこと 他

イ 電話相談「はればれ電話」

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・開設日数：244日
- ・相談件数：69件
- ・相談内容：近所とのトラブルや苦情、人間関係の悩み 他

ウ 法律相談（予約制）

- ・相談員：弁護士1人
- ・相談日：毎月第3土曜日 午前10時～正午
- ・開設日数：11日
- ・相談件数：42件
- ・相談内容：離婚、相続、金銭トラブル、不動産問題、労働問題 他

エ 結婚相談

- ・相談員：5人
- ・相談日：毎週水曜日午前10時～午後3時、毎月第2・4土曜日午前10時～午後3時
- ・開設日数：75日
- ・相談件数：1,145件 来所者数(延べ)1,254人
- ・登録者(実活動者数) 男性577人 女性217人 計794人
- ・成立組数：見合い108組 婚約3組 結婚4組

(ア) ながの結婚マッチングシステム

長野県内でマッチングシステムに登録者している男女を、インターネットで検索し紹介するシステム

上田での登録者数 男性43人 女性7人 相談来所者数(延べ)：139人
お見合い19組 (お見合い場所 長野市11回 上田市5回 松本市2回 岡谷市1回)

結婚 0組

(イ) お見合企画

「Premium X'mas Party」

45歳までの男女を対象

12月23日(土) 上田東急REIホテル

参加者 男性18人 女性15人 (応募 男性30人 女性19人)

カップル成立4組

(ウ) 上田市結婚支援ネットワーク実行委員会

結婚相談員スキルアップセミナー

1月18日(木) 上田市役所東庁舎2階 相談員5人 事務局2人参加

「成婚に結びつく結婚相談とは」

講師 溝端 勇二氏 (ながの結婚支援センター 代表)

結婚相談員情報交換交流会

3月13日(火) 上田市役所南庁舎5階 相談員4人参加

(2) 丸子相談事業

ア 心配ごと相談

- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・相談件数：20件
- ・相談内容：近隣トラブル、親戚関係、家族関係、生活関係

イ 法律相談

- ・相談員：弁護士1人
- ・相談日：2ヶ月に1回を目安に実施 午後1時30分～午後3時30分
- ・開設日数：5日
- ・相談件数：11件
- ・相談内容：遺産相続、離婚、借金、金銭トラブル、交通事故、家族問題、詐欺被害他

(3) 真田相談事業

心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・相談件数：3件
- ・相談内容：家族関係、近隣トラブル他

(4) 武石相談事業

心配ごと相談

- ・相談員：1人
- ・相談日：毎週 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・相談件数：2件
- ・相談内容：生活困窮

相談事業の評価等

市民の方からの身近な相談窓口として様々な生活上の相談に応じ、内容によっては他の専門機関等と連携を図りながら市民の方が不安や悩みを抱え込まずに解決につながるよう努めた。

結婚相談では上田と丸子の相談体制を一本化させ、新相談員5人での新体制をスタートとさせた。行政や他団体と連携しつつ、今年度はセミナーや情報交換会など相談員の育成に力を入れた。

16 貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者を対象に資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、世帯の自立と更生に努めた。

(1) たすけあい資金

要保護世帯又はこれに準ずる世帯に対し、応急的に貸付ける制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。

たすけあい資金貸付状況

	相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)
上田地区	32	4	145,000
丸子地区	3	1	20,000
真田地区	1	0	0
武石地区	2	0	0
合計	38	5	165,000

(2) 生活福祉資金(県社協受託事業)

(ア) 総合支援資金

この資金は、失業等により生計の維持が困難になった世帯に対して、再就職までの生活資金として貸付けるものである。

(イ) 福祉資金

この資金は、低所得世帯等に対し自立生活を送る上で一時的に必要であると認められた場合に貸し付けるものである。

(ウ) 教育支援資金

この資金は、低所得世帯に対し高校、短大、大学、又は高等専門学校に就学するために必要な経費を対象とした貸付である。

生活福祉資金貸付状況

資金種類		相談件数(件)	貸付件数(件)	貸付額(円)
総合支援資金	上田地区	14	0	0
	丸子地区	2	0	0
	真田地区	0	0	0
	武石地区	1	0	0
	合計	17	0	0
福祉資金	上田地区	184	2	103,000
	丸子地区	2	1	266,000
	真田地区	0	0	0
	武石地区	0	0	0
	合計	186	3	369,000
教育支援資金	上田地区	38	0	0
	丸子地区	1	1	90,000
	真田地区	0	0	0
	武石地区	1	0	0
	合計	40	1	90,000
合計		243	4	459,000

生活福祉資金貸付状況の推移

	相談件数(件)			貸付件数(件)			貸付額(円)		
	29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度	29年度	28年度	27年度
総合支援資金	17	60	78	0	2	4	0	625,000	1,441,861
福祉資金	186	239	228	3	7	10	369,000	706,000	4,413,000
教育支援資金	40	70	58	1	1	6	90,000	276,000	3,937,000
合計	243	369	364	4	10	20	459,000	1,607,000	9,791,861

貸付事業の評価等

たすけあい資金の滞納者に対して、上田市福祉課と上田市社会福祉協議会の連名で督促状を郵送し、「宛先不明」の滞納者に対しては、住民票調査をかけた償還指導に繋げた。

生活福祉資金の貸付における相談者に対し、関係機関と連携し相談者の生活の安定に繋がるよう努めた結果、まいさぼ上田の住居確保給付金や家計相談支援事業、食糧支援が定着し、貸付をせずに生活再建の見通しが立つケースが増加した。

1 7 ボランティア地域活動センター事業

この事業は地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、その育成と組織化を促進することを目的として実施した。

(1) 上田ボランティア地域活動センター事業

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 情報提供

啓発のためのボランティアセンターパンフレット配布、ボランティアコーナー掲示板・社協ホームページでのボランティア情報提供、「社協うえだ」へボランティア情報の掲載 年6回(2月、4月、6月、8月、10月、12月) 上田市内全戸へ配布

(イ) 新聞等報道機関の活用

信濃毎日新聞、東信ジャーナル、信州民報、週刊うえだ、上田ケーブルビジョン等

(ウ) 収集活動

使用済み切手 整理後、海外支援団体(ジョイセフ・日本キリスト教海外支援協力会)及び国内NPO法人(誕生日ありがとう本部)へ送付 43kg

(エ) ボランティア保険等の普及、保険への加入促進

- ・ボランティア活動保険加入者 249件 3,359人
- ・ボランティア活動行事用保険加入者 39件 3,791人
- ・上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 2,053人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ボランティア学園 (全9回) 参加者69人
- ・お話し相手ボランティア講座(全3回) 参加者62人

(イ) 上田ボランティア連絡協議会の活動支援

平成25年度から、事務局を上田ボランティア地域活動センターに設置し、事業の充実に向けて取り組んだ。

- ・視察研修 7月7日(金)～7月8日(土)
福島県 「東日本大震災の復興支援について学ぶ」

(ウ) 研修会の開催

- ・上小ブロックボランティアフォーラム 10月22日(日)
青木村文化会館 参加者 119人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) うえだ市民ふれあい広場

実行委員会による事業の運営

5月26日(金) 第1回実行委員会

6月23日(金) 第2回実行委員会

9月14日(木) 第3回実行委員会

9月30日(土) 第39回うえだ市民ふれあい広場開催 場所 上田創造館

10月27日(金) 第4回実行委員会

実行委員 41団体 約302人 学生ボランティア 28人

来場者 約3,500人

(イ) ひざ掛の配布

製作 モチーフの会

対象者：高齢者及び重度障がい者

配布地区 東部地区59枚、神川地区145枚

(配布地区は上田地区内を毎年順番に回している。)

オ 福祉教育の推進

(ア) 社会福祉普及校の指定

内容：児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に、小・中学校及び高等学校を対象に、社会福祉の普及を推進する。普及校1校に対し活動費50,000円の補助を行う。それぞれ地域の実情に合わせ、特性を生かした活動を展開した。

◇指定校：小学校16校、中学校7校、高校3校 計26校

◇社会福祉普及校連絡会議 6月16日(金)開催

(イ) 出前福祉体験事業

内容：福祉体験を目的とした活動について、資材貸出、講師紹介及びハンディキャップ体験(車いす、アイマスク体験、高齢者擬似体験など)を学校等地域に向いて行った。

対象：小学校10件、中学校5件、PTA1件、自治会2件、その他2件

計 20件 対象者 1,908人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

○サマーチャレンジボランティア (対象中学生以上)

内 容：ボランティア活動を体験することにより、生徒、学生の視点から地域の課題を見つめ、自分たちが出来ることは何かを主体的に考え活動することを目的に実施した。

・事前研修

7月22日（土） 上田市ふれあい福祉センター

事前研修

受入施設職員との打ち合わせ 参加者 133人

・施設でのボランティア体験活動

7月26日（水）～8月18日（金）の間、一人1施設で1日～3日間の体験活動を行う。

受入先福祉施設 60施設 参加者 138人

○スプリングチャレンジボランティア（対象中学生以上）

内 容：春季休暇を利用し、ボランティア活動を体験することにより学生の視点から地域の課題を見つめ、自分達に取り組めることは何かを主体的に考え活動できることを目的に実施した。

・事前研修

3月10日（土） 上田市ふれあい福祉センター

受入施設職員との打ち合わせ 参加者 64人

・施設でのボランティア体験活動

3月15日（木）～3月31日（土）の間、一人1施設で1日～3日間の体験活動を行う。

受入先福祉施設 61施設 参加者 65人

カ 災害時の訓練、協力

(ア) 災害救援ボランティア登録の受付

登録者総数(累計) 個人 277人 団体 18団体(393人)

(イ) 災害救援ボランティア訓練及び研修

平成29年度災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練
(市総合防災訓練と合同開催)

9月2日（土） 上田市立川西小学校体育館

災害ボランティア登録者 26人参加

キ ボランティア地域活動センター運営委員会

運営委員会の開催

5月17日（水） 第9回運営委員会

7月11日（火） 第10回運営委員会

9月21日（木） 第11回運営委員会

平成30年2月26日（月） 第12回運営委員会

ボランティアニーズ状況

	施設 (件)	学校 (件)	自治会 (件)	団体 (件)	個人 (件)	合計 (件)
4月	7	1	9	5	2	24
5月	9	0	5	1	1	16
6月	6	1	6	4	1	18
7月	10	0	9	1	0	20
8月	11	1	5	2	0	19
9月	7	3	10	2	0	22
10月	5	4	6	0	0	15
11月	9	7	0	0	0	16
12月	8	2	0	1	0	11
1月	6	0	5	0	1	12
2月	6	0	7	0	1	14
3月	11	0	9	2	11	33
合計	95	19	71	18	17	220

(2) 丸子ボランティア地域活動センター事業

ア ニーズの把握

- (ア) 相談活動によるニーズの把握
- (イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握
- (ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 新聞等報道機関の活用

信濃毎日新聞、信州民報、東信ジャーナル、週刊うえだ、丸子テレビ、丸子有線放送

(イ) 「鈴木クラジ文庫」による啓発 DVD、書籍などの貸出(33件 86冊)

(ウ) 収集活動

使用済み切手 整理後、日本キリスト教海外支援協力会へ送付(29年度送付無)

(エ) ボランティア保険等の普及、加入促進

- ・ボランティア活動保険 43件 570人
- ・ボランティア活動行事保険 14件 677人
- ・サロン保険 8件 429人
- ・上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 545人

ウ 養成研修、組織化

(ア) 各種講座の開催

・ボランティア講座 「てずくな講座」

第1回 紙バンドでコースター作り

講師 東信レクリエーション協会 参加者 11人

第2回 まゆクラフト

講師 園芸福祉グリーンドア 参加者 19人

第3回 石鹼デコパージュ

講師 東信レクリエーション協会 参加者 14人

・ボランティア講座 「SNS活用講座 Facebook編」

講師 合同会社キップル 吉田 達矢氏 参加者 12人

・ボランティア講座 「男性ボランティア講座」

ボランティアグループ活動紹介

箱山城・桜ロードの会 丸子珈琲倶楽部 参加者 10人

・地域づくり講座

平成30年2月8日(木)「丸子地域再発見!安心の地域づくりをみんなの手で」

講師 相川陽一氏 (長野大学環境ツーリズム学部 准教授)

住み慣れた地域を見つめ直し、眠っている資源探しのヒントを実践事例に
学びながら、安心して暮らせる地域づくりについて学ぶ 参加者 65人

(イ) 地域サロンの開催

丸子ボランティア地域活動センターで男性ボランティアグループの育成と
地域交流スペースの活用とセンターの活動周知を目的に月1回「珈琲サロン
さざなみ」を開催 参加者 496人

(ウ) 丸子地域のふれあいの会等へレクリエーション用品の活用を呼びかける

レク用品貸出 28件

(エ) 丸子ボランティア連絡協議会

加入団体 21団体 加入者数(個人ボラ含) 883人

(オ) ボランティア育成・組織化

・丸子地域の中学3年生に向け「ポプリの受験お守り」製作

丸子中学校、丸子北中学校受験生に向けポプリのお守りを贈呈

(贈呈生徒数 170人 製作に関わったボランティア数 5人)

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

○丸子ボランティア連絡協議会の活動支援

(ア) 清掃美化活動

6月24日(土) 依田川河原のアレチウリ駆除活動 約200kg 参加者 53人

(イ) いきいきフェスティバル2017(健康と福祉の祭典)

7月2日(土) わたあめ、ポップコーンづくり、会場係他で参加30人

(ウ) 視察研修

7月21日(金) 参加者20人 阿智村満蒙開拓平和記念館

(エ) 視障協マッサージサービス

9月17日(日) 参加者18人 視障協会員6人によるマッサージサービス

(オ) げんきまるこ産業フェスタ2017

10月7日(土) バザー販売で参加 参加者8名

(カ) 丸子災害救援ボランティア研修会

3月12日(月)「避難所体験ゲーム」参加者57人

講師 日本赤十字社長野県支部 小柳由佳氏 水出秀子氏

(キ) 丸子ボランティア連絡協議会定期交流会

12月9日(土) 参加者107人 団体発表と講演会

講演 身体教育医学研究所 所長 岡田 真平氏

演題 「健康づくりのための身体活動と運動とボランティア活動」

(ク) 多文化共生事業「ワールドランチ交流会」

中国、ブラジル、日本料理 参加者65人

中国、ブラジル家族による発表「母国と日本の子育ての違い」

(ケ) ボランティア育成事業「救急法講習会」

講師 丸子消防署職員 心肺蘇生法・AED講習 参加者12人

(コ) 丸子ボランティア連絡協議会代表者会・役員会・三役会へ参加

(サ) 外国籍市民や母子家庭などへ支援米の配布 29年度配布数量203.5kg

・その他活動の支援

(ア) 丸子モチーフの会

独居高齢者等へ膝掛の配布 85枚(内村、丸子第一・第二地区)

高齢者施設2か所15枚

(イ) E-キャップの会(やさしい帽の会)

闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供

(佐久医療センター、増田医院、上田医療センター 個人 483枚配布)

(ウ) 傾聴ボランティア・まるこ

傾聴の技術により話を聞いてほしい人に寄り添うボランティア活動

(個人宅、施設含め 174件訪問)

オ 福祉教育の推進

- (ア) 社会福祉普及校の指定児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日ごろから助け合いの気持ちを育むことを目的として指定した。普及校

1 校に対し活動費 50,000 円までの補助を行う。(小学校 4 校、中学校 2 校、高校 1 校)

(イ) 出前福祉体験事業

内 容：学校や地域における福祉体験を目的とした活動について援助し、講師派遣、車いす体験、高齢者疑似体験などを行った。

対 象：中学校 2 件、企業 1 件 計 3 件 対象者 130 人

(ウ) 福祉体験プログラムの展開

・サマー体験ボランティア 2017

内容：夏の長期休暇等を利用して、福祉施設やボランティア団体での体験学習をとおして今後の学校や地域社会におけるボランティアのありかたを考える事を目的とし実施した。

○事前研修会

7 月 22 日 (土) 参加者 21 人

- ・活動先施設との事前打ち合わせ
- ・研修「みんなで楽しむレク講座」

講師：東信レクリエーション協会

○施設、病院ボランティアおよびボランティア団体での体験

受入れ施設・団体 6 施設 参加者 41 人

ボランティアニーズ状況

	施 設		学 校 (保育)		そ の 他		合 計	
	ケース (件)	ボランティア (人)	ケース (件)	ボランティア (人)	ケース (件)	ボランティア (人)	ケース (件)	ボランティア (人)
合計	25	163	5	14	11	30	41	207

その他問い合わせ状況 1,256 件 (移送含む)

ボランティアセンター利用状況

	使用団体	使用人数
4 月	24	203
5 月	22	228
6 月	18	193
7 月	19	215
8 月	19	184
9 月	18	210
10 月	17	205
11 月	20	208
12 月	17	209
1 月	17	248
2 月	24	198
3 月	22	233
合計	237	2,534

(3) 真田ボランティア地域活動センター事業

ボランティア・市民・学校・行政などさまざまな団体、個人からのボランティア活動に関する相談や問い合わせがあった。

ア ニーズの把握

(ア) 社会福祉施設、ボランティア団体、NPO 法人の把握

(イ) 相談による把握

イ 広報、啓発

(ア) 啓発のためのチラシを作成し福祉体験授業に使用した。

- ・エスコートガイド（車いす、アイマスク）
- ・高齢者疑似体験のチラシ作成
- ・イベントのチラシを全戸に配布

(イ) 収集活動（使用済み切手、アルミ缶、書き損じはがき、にあわせて啓発し協力した。

(ウ) 報道機関（信濃毎日新聞、週刊うえだ、東信ジャーナル、有線放送）を活用しボランティア活動等を周知し参加を呼び掛けた。

(エ) 福祉用具を学校へ貸出した。

アイマスク 25 枚

(オ) ボランティア保険の普及と加入促進

- ・ボランティア活動保険加入 17 団体 275 人
- ・ボランティア行事用保険加入 84 件 2,172 人
- ・送迎サービス補償保険加入 300 人

ウ 養成研修・組織化

(ア) 各種講座の開催

- ・ボランティア講座 参加者 延べ人数 6 回 108 人

関心があることから勉強していただき、家族、地域、そこからボランティア活動をしていただけるように、基礎的な知識や技能を学んでいただくための講座を開催した。

①6月12日(月)自分でできるリンパケア 講師 中沢 由美子 氏

②6月28日(水)ハンドマッサージ 講師 黒澤 かおり 氏

③7月 5日(水)ハンドマッサージ 講師 黒澤 かおり 氏

④7月21日(金)マジックバルーン

⑤8月 5日(土)マジックバルーン

⑥9月21日(木)ボランティア講座

講師 さなだクリニック療法士 藤井看護師長

(イ) ボランティア連絡協議会加入者数 (団体 14、施設 2)

(ウ) サマーチャレンジボランティア、ふれあい広場、清掃ハイキングを地域の福祉施設、学校、地域住民、NPO法人と連携し開催することができた。

(エ) いきいきサロンへの協力

・講師や話の内容を説明した冊子を作成し、活用していただいた。また、講師の派遣や職員による劇を鑑賞していただき、社会福祉協議会の活動や事業を理解していただくことができた。

・渋沢自治会、大庭自治会、中組自治会、十林寺自治会、大日向自治会、赤井、小玉、上郷沢自治会、荒井自治会、大畑自治会、下原自治会のいきいきサロンへ出向き、健康体操や手遊びをして交流することができた。

(オ) 地域清掃ハイキングを実施した。

福祉施設、福祉団体、学校、保育園、幼稚園、ボランティア団体が参加し、真田地域の環境美化を守るため春と秋の2回行った。また、特別養護老人福祉施設で豚汁の提供を受け、参加者全員で施設内の庭をお借りして、昼食を食べながら年代を超えての交流を図ることができた。

第44回 6月3日(土) 長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者 123人

第45回 9月23日(土) 長、傍陽、本原地域の県道・国道沿い 参加者 70人

(カ) 第30回ふれあい広場 in さなだへの参画

9月9日(土) 真田総合福祉センター、真田体育館 (3回実行委員会開催)

地域住民総参加で、世代を超えて交流を図ることができた。また、住民からバザー用品の提供を受け、売上金の一部(273,310円)の内100,000円を真田中学校へ指定寄付

一般入場者数700人(中学生ボランティア49人)

(キ) ボランティア連絡協議会の活動支援

・役員会、代議員会への協力

・7月12日(水)「東京臨海広域防災公園」視察研修

阪神淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災等日本の歴史の中で、自然災害と上手に付き合う防災、減災などの知恵や必要性を体験を通して学び、真田での防災訓練に活用できた。

・平成30年3月10日(土)交流会開催

講師 斎藤充子氏 「北部地震から学んだこと」と題しお話をいただく。

後半は、3ボランティア団体の発表が行われた。

(ク) 福祉推進委員、福祉委員合同研修にいきいきサロン等で活用していただくよう資料の提供をした。

エ 福祉教育の推進

(ア) 福祉体験学習

- ・4月24日(月)菅平中学校事前研修 1年生7人が参加
真田地域の福祉施設の見学を行い、自分がボランティア活動をしたい施設を調べた。
- ・5月10日(水)、11日(木)菅平中学校1年生7人がボランティア体験
障がい者施設、デイサービスセンター、特別養護老人ホームで行った。

(イ) サマーチャレンジボランティア

中学生を対象に、夏休みを利用してボランティア活動を行うきっかけ作りと、地域にはどのような施設があり、活動しているのか理解し、どのようなボランティア活動ができるのか考える機会にさせていただくことを目的に実施した。

- ・7月27日(木)事前打ち合わせ
- ・8月1日(火)11日(金)デイサービスセンター、特別養護老人福祉施設、障害者施設で体験 36人参加

(ウ) 小中学生の福祉体験学習(出前講座)

- ・12月1日(金)長小学校6年生、23人高齢者疑似体験
- ・12月26日(火)真田中学1学年 45人車いす体験
真田中学1年生 42人アイマスク体験
- ・1月18日(木)真田中学1学年 42人車いす体験
真田中学1学年 45人アイマスク体験

オ ボランティア活動状況

- ・特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、知的障がい者生活施設へ派遣
個人ボランティア 延べ人数 120人
- ・小・中学校へ福祉体験個人ボランティア派遣 6人
- ・真田モチーフの会で高齢者、障がい者にモチーフを56枚民生委員さんを通じてお配りする。

カ 災害ボランティア研修

(ア) 9月2日(土)参加者数 11人

本原小学校にて、災害救援ボランティア立上訓練をボランティアの方と「災害救援ボランティアセンター立上げ訓練」を行う。ボランティア連絡協議会の研修で得た内容を体験していただく。

(4) 武石ボランティア地域活動センター事業

ボランティア活動の推進を図るとともに、地域住民のボランティア活動に対する理解と関心を深めるため、その育成と組織化を図ることを目指した。

ア ニーズの把握

(ア) 相談活動によるニーズの把握

(イ) 社会福祉施設、ボランティア団体のニーズの把握 ニーズ件数 33

(ウ) 企業の社会貢献に関する状況把握

イ 広報、啓発

(ア) 住民参加の地域内のごみ拾いや清掃など、ボランティア活動を通し啓発を進めた。

(イ) ボランティア保険の普及、保険への加入促進

活動保険 92人(年間)

行事保険 139人(年間)

上田市福祉ボランティア保険掛金補助交付制度代理事務による補助 71人

ウ 組織化

(ア) ボランティア連絡協議会加入者数

団体 10団体 167人 個人 26人

エ 社会資源活用、ネットワーク促進

(ア) 高齢者クラブ連合会女性部による高齢者福祉施設での洗濯物たたみや話し相手

5月～11月 月2回 延べ参加者 39人

(イ) 団体によるデイサービスへの訪問活動

・大正琴りんどうの会、J Aフラダンス、児童唱歌をうたう会、ハーモニカの会、
神州流光吟道会・・・各2～6回

(ウ) 個人による施設などへのボランティア活動

・サクソ演奏、ハンドマッサージ、本の読み聞かせ・・・各2～6回

(エ) 高齢者クラブ員による老人福祉センター庭園の樹木の剪定や草刈りを行い、施設の
景観整備に努めた。

年2回 6月、9月 延べ参加者 80人

(オ) ボランティア連絡協議会活動支援

・「花祭り・こども祭り」参加

4月29日(土) 大宮諏訪神社武石公園周辺

飲み物コーナー担当 5人

・アレチウリ駆除

実施日 6月3日(土) 参加者 25人

・武石ボランティア連絡協議会交流会

実施日 6月3日(土) 参加者 35人

男声合唱団メンネルコール我謝&あやばに（沖縄三線と唄）
演奏会と会員相互の交流

- ・武石日赤奉仕団・ボランティア連絡協議会共催「武石防災研修会」開催

実施日 2月3日（土） 参加者 51人

「避難所体験ゲームーひなた（避難所運営ゲーム長野日赤版）」

講師 日本赤十字社長野県支部

組織振興課ボランティア係長 小柳 由佳氏

地域赤十字奉仕団研修推進委員 水出 秀子氏

オ 福祉教育の推進

（ア）社会福祉普及校の指定

児童・生徒が体験を通じて、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助、社会連帯の思想を浸透させることを目的に指定した。普及校1校に対し活動費50,000円までの補助を行う。（小学校1校、依田窪南部中学校については、長和町社会福祉協議会と合わせて1校25,000円の補助）

（イ）福祉体験学習

- ・高齢者疑似体験 武石小学校 6年生

●実施日 11月14日（火） 参加者 29人、ボランティア3人

- ・高齢者疑似体験 国保依田窪病院 病院職員 43人

●実施日 12月12日（火）

- ・高齢者疑似体験備品貸出し 国保依田窪病院

12月19日（火）・21日（木） 参加者 28人

ボランティア地域活動センター事業の評価等

各地区センターを拠点に地域の特性を活かしながらボランティアの育成や講座の開催を行った。

また、それぞれの地区において学校からの要請により、障がい者理解、高齢者理解につながる福祉体験や疑似体験を行った。

上田市ボランティア地域活動センター運営委員会において情報発信や他の団体との連携方法について検討していただいた。情報発信の方法としては、SNSの活用などがあげられ「まちなかキャンパス」にて講座を開催した。

また、各地区のボランティア連絡協議会が主体となり様々な事業を実施したが、それぞれの事業や組織に温度差があるため、各地区協議会の交流を図りながら事業の充実を図り、上田市全体でボランティアの活性化を図りたい。

1 8 地域子育て支援拠点事業【連携型、一般型】（市受託事業）

「子育てひろば」は、未就園児の親子を対象に子育ての負担感の緩和を図り、安心して子育てができることを目的とした事業であり、上田市からの委託を受け、4 か所の子育てひろば（連携型3 か所、一般型1 か所）を開設し運営している。

地域における子育て支援拠点として、親子で遊んだり、他の親子と交流したり、子育ての悩みなどを相談できる場としてサービスの提供をしており、様々な遊具や遊びの他、保護者のための講座や、親子で楽しめる遊びの講座を毎月1回以上実施した。

また、自治会内の回覧や掲示をして、子育てひろばの利用方法や毎月の講座、ひろばの様子を知らせるなど周知に努めると共に、子育てひろばスタッフ研修会、救急法講習会、発達障がい研修会に参加し、職員の資質向上を図った。

会場・開設日時

会 場	開設曜日	開設時間	29年度 平均利用者 数(人)	28年度 平均利用者 数(人)	27年度 平均利用者 数(人)
大星児童センター	火・木・金	9:30～12:30	18.6	16.7	21.0
神科児童センター	火・水・木	9:30～12:30	19.0	18.9	21.4
東塩田児童センター	月・火・水	9:30～12:30	13.5	16.7	16.5
清明子育てひろば	月・水・金	9:30～14:30	15.3	19.8	18.8

子育てひろば事業の評価等

各子育てひろばの特色によって、目的をもって子育てひろばを利用する親子が増えてきている。子ども達は、伸び伸びと遊び、母親は、育児の話や悩みを話し合う中で、みんなで育ち合う温かな関係ができてきた。講座を楽しみに来られる方も多いため、身近なもので簡単にできるおもちゃの制作や母親がリラックスできるヨガやハンドマッサージ等の講座を実施し、利用者親子にとっても好評だった。

また、乳児の利用が、増加してきているので、年齢に合った玩具を用意し、環境を整えた。

利用者数では、全体的に、昨年より減少傾向が見られるが、利用される母親にとって、子育てが楽しくなるような子育てひろばを目指していきたい。

19 老人福祉センター事業

(1) 上田市高齢者福祉センター管理事業(市受託事業)

上田市高齢者福祉センターは、市内に在住する60歳以上の高齢者の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。

2階にある展望風呂を楽しみに来館される方が多く、また貸出部屋を利用した各種同好会活動等も盛んに行われている。他にも、高齢者介護課が主催する介護予防体操や当館が主催する初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。館内では利用者の趣味を生かした各種クラブが28クラブあり、約900人の会員が積極的な活動を行い、特に高齢者文化祭や高齢者作品展での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図りながら楽しんで取り組んでいる。

また、当センターを主会場に3年間の学習形態で上田市高齢者学園の授業が行われており、卒業後は各種同好会やクラブ活動をはじめ、学んだ知識を地域での活動に役立てている。

ア 利用状況

高齢者の生きがいと健康づくりを目的に多くの皆さんが利用された。

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日の利用者数(人)
4	7,985	24	332.7
5	7,583	24	315.9
6	8,200	26	315.3
7	7,634	25	305.3
8	6,563	26	252.4
9	7,478	24	311.5
10	8,686	26	334.0
11	7,317	24	304.8
12	7,120	23	309.5
1	6,075	23	264.1
2	7,556	23	328.5
3	7,722	26	297.0
合計	89,919	294	平均 305.9

利用状況の推移

	利用延人数 (人)	開館日数(日)	1日平均利用者 (人)
29年度	89,919	294	305.9
28年度	90,276	295	306.0
27年度	92,888	294	315.9

イ その他事業

・高齢者文化祭 10月21日(土)、22日(日) 参加者 1,305人

ウ 利用人数

・教養クラブ活動(28クラブ)		参加者	34,852人
・高齢者初級パソコン教室	402回	参加者	2,612人
・実習生・ボランティア	13回	参加者	85人

(2) 高齢者学園事業(市受託事業)

上田市高齢者学園は、高齢者の方の「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」を行うとともに目指す学びの場として様々な学習活動(授業、クラブ、課外、校外)を行うとともに、仲間同士の絆を深めながら、地域での積極的な交流を行った。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からの様々な要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に役立てた。

特に本年度は、新たな学習分野に基づいた様々な授業を展開し、学習意欲の向上を図るとともに、地域における学園生の役割を再認識しながら積極的な生きがい活動を実践することができた。

ア 学生数 1年生 48人、2年生 65人 3年生 50人

イ 講義回数 1年生 17講義、2年生 17講義、3年生 17講義

ウ 研修会 1年生 創造館研修、2年生 松代研修、3年生 長野研修

エ 交流会 1年生 別所地域散策、2年生 武石地域散策、3年生 真田地域散策

オ 研修旅行 1年生 10月12日(木)～13日(金) 石川県和倉温泉

2年生 9月26日(火)～27日(水) 千葉県勝浦温泉

3年生 6月8日(木)～9日(金) 静岡県舘山寺温泉

カ クラブ活動 7種類のクラブ活動を各学年の講義日に設定し(年間7回)学習効果を高めるとともに、三学年合同のクラブ発表会を開催し、ステージ発表や作品展示をとおして活動の成果を確かめ合った。

また、学園運営委員を招き、意見交換を行いながら互いに交流を深めた。

キ 運営委員会 第1回運営委員会 11月21日(火)

第2回運営委員会 2月9日(金)

ク その他 講義評価アンケートの実施

(3) 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業(市補助事業)

上田市丸子老人福祉センター(愛称「たんぽぽ」)は、高齢者の心身の健康の保持のため、健康相談・指導・入浴・休養・レクリエーションなどを行うとともに、文化教養の向上を図るため老人のクラブ活動等を行い、高齢者福祉に総合的に寄与することを目的に昭和54年に開設した。

開設当時より社会福祉協議会の事業として運営されており、老人クラブの活動や高齢者憩いの場所として多くの方に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	2,297	25	91.9
5	2,164	27	80.2
6	2,194	26	84.4
7	2,008	26	77.2
8	1,860	26	71.5
9	2,004	25	80.2
10	2,002	26	77.0
11	2,074	26	79.8
12	2,043	24	85.1
1	2,070	24	86.3
2	2,154	24	89.8
3	2,274	27	84.2
合計	25,144	306	82.2

利用状況の推移

	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
29年度	25,144	306	82.2
28年度	26,611	304	87.5
27年度	27,198	306	88.9

(4) 上田市真田老人福祉センター管理事業(市受託事業)

上田市真田老人福祉センターは、高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等憩いの目的に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	942	25	37.7
5	962	27	35.6

6	1,006	26	38.7
7	863	26	33.2
8	849	24	35.4
9	1,064	26	40.1
10	990	26	38.1
11	964	26	37.1
12	905	23	39.4
1	882	24	36.8
2	908	24	37.8
3	1023	27	37.9
合 計	11,358	304	37.4

利用状況の推移

	利用延人数（人）	開館日数（日）	1日平均利用者（人）
29年度	11,358	304	37.4
28年度	12,410	305	40.8
27年度	13,905	305	45.6

(5) 上田市武石老人福祉センター管理事業(市受託事業)

武石老人福祉センターは、「木彫教室」、「地域リハ」「囲碁」などの趣味活動、単位高齢者クラブ等や各種福祉団体の会議等に利用されている。

利用状況

月	利用延人数(人)	開館日数(日)	1日平均利用者数(人)
4	78	20	3.9
5	104	20	5.2
6	68	22	3.1
7	45	20	2.3
8	122	22	5.6
9	85	20	4.3
10	123	21	5.9
11	109	20	5.5
12	60	21	2.9
1	116	19	6.1
2	104	19	5.5
3	183	21	8.7
合 計	1,197	245	4.9

利用状況の推移

	利用延人数（人）	開館日数（日）	1日平均利用者（人）
29年度	1,197	245	4.9
28年度	1,077	245	4.4
27年度	1,141	243	4.7

老人福祉センター事業の評価等

老人福祉センター事業は、超高齢社会並びに人口減少社会に突入した時代において、高齢者が主体的に社会との関わりを保ちながら、生きがいを持って健康増進を図ることができるための拠点となる施設として有効に活用された。

クラブ活動においては新たなクラブが加入したものの、講師や会員の高齢化等に伴い活動が困難となり、解散するクラブも出てきている。

高齢者学園においては、新たな学習課題に挑むとともに、各地域から集まる仲間同士の交流を深め合いながら、地域での役割を学ぶことにつながっている。

また、福祉教育の一環として看護学校をはじめとした実習生や学生ボランティアを受け入れる中で、学生と利用者との貴重な世代間交流の場となり、互いに良好な相互作用がもたらされた。

全体として、センター施設を中心に長寿社会における高齢者の生き方の模範的な活動が行われており、特に健康寿命の延伸に大きく貢献しているものと評価できる。

なお、施設の老朽化が進み年々修繕箇所が増えているのが課題となっている。

20 真田ふれあいバス運行事業(市受託事業)

老人センターへの利便を図るため、定期的にふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

- ・定期運行 毎週 月、水、木、金曜日に真田地域巡回（菅平区は除く）
- ・25人乗りマイクロバス 迎え1回 送り2回の巡回
- ・運休日 毎週 火、土、祝日、お盆（8月13日～16日）
年末年始（12月29日から1月3日）

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者(人)	498	439	543	423	384	439	
運行日数(日)	16	15	18	16	15	16	
1日平均利用者数(人)	31.1	29.3	30.1	26.4	25.6	27.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(日)	453	335	456	419	420	463	5,272
運行日数(人)	16	16	15	15	15	17	190
1日平均利用者数(人)	28.3	20.9	30.4	27.9	28.0	27.2	27.8

ふれあいバス利用状況の推移

	29年度	28年度	27年度
利用者数(人)	5,272	5,700	6,533
運行日数(日)	190	191	190
一日平均利用者数(人)	27.8	30.0	34.4

2.1 在宅介護者リフレッシュ事業(市受託事業)

在宅で高齢者を介護している介護者の皆さんが、心身の疲れを癒し、元気の回復を図り、専門職からの相談援助や情報提供を受ける。また、同じ悩みや体験をもつ介護者同士の交流を図ることを目的として実施した。

(日帰り) 期 日 6月27日(火)

場 所 小布施

参加者 10人

期 日 11月10日(金)

場 所 小布施

参加者 18人

(1泊2日) 期 日 10月12日(木)～13日(金)

場 所 福島方面

参加者 23人

2.2 みまもり(声かけ)訪問事業

丸子地区では少子高齢化、核家族化社会の中で、一人での暮らしや健康に不安をかかえている高齢者世帯が住み慣れた地域で孤立することなく、安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行い、助け合いのしくみづくりを行った。

(ア) 実施内容

登録ボランティアが月2回程度利用者宅を訪問し、玄関先や軒先で日常の話をお聞きした。訪問にはお便りなどを届けている。

(イ) 対象者

65歳以上の方のみの世帯または同居されていても日中一人になる方で、介護保険サービスを利用されていない方(登録利用者 6人)

(ウ) 協力者

みまもり（声かけ）訪問事業登録ボランティア（登録ボランティア 28人）

(エ) 見守り訪問実績

（単位 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訪問件数	8	8	8	8	7	10	
訪問ボランティア	16	15	16	15	13	20	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	8	8	11	8	8	10	102
訪問ボランティア	16	14	18	16	16	16	191

生活支援事業の評価等

真田ふれあいバス運行事業は、地域の住民の生活を支える足として定着している。

丸子地区の独自事業（平成25年11月から開始）である「みまもり（声かけ）訪問事業」は、地域住民のボランティアによって支えられている。現在は登録制で行われているが、この事業が各地域に浸透し、日常的な支え合いの仕組みづくりに派生していくことを期待したい。

2.3 施設管理事業(市受託事業)

(1) ふれあい福祉センター

ふれあい福祉センターは、旧上田郵便局舎を改修し、障がい者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に平成11年11月15日にオープンし、福祉の拠点として多くの方が利用されている。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	2,377	2,807	2,818	2,570	2,141	2,804	
日数(日)	30	30	30	31	31	30	
1日平均利用者(人)	79.2	93.5	93.9	82.9	69.0	93.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	2,844	2,699	2,541	2,404	2,527	2,686	31,218
日数(日)	31	30	28	28	28	31	358
1日平均利用者(人)	91.7	89.9	90.7	85.8	90.2	86.6	87.2

	29年度	28年度	27年度
利用延べ人数(人)	31,218	34,984	34,414
1日平均利用者(人)	87.2	97.7	95.6

(2) 真田総合福祉センター

真田総合福祉センターは、地域の多くの方に利用していただける施設です。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。また多くのクラブ活動に利用されている。

開館日：火曜日の夜間を除く毎日 開館時間：午前9時～午後9時30分

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	1,163	992	1,349	1,359	1,109	2,174	
日数(日)	30	31	30	31	31	30	
1日平均利用者(人)	38.8	32.0	45.0	43.8	35.8	72.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	2,836	995	1,265	1,014	932	1,080	16,268
日数(日)	31	30	28	28	28	31	359
1日平均利用者(人)	91.5	33.2	45.2	36.2	33.3	34.9	45.3

	29年度	28年度	27年度
利用延べ人数(人)	16,268	15,663	15,300
1日平均利用者(人)	45.3	43.6	42.3

(3) 真田地域活動センター

障がい者及び高齢者が民芸品の自主制作に取組み、生産意欲を持って健康で楽しく働き、社会生活の適応性を高めることを目的に利用されている。

開館日：月曜日～土曜日（ただし、お盆、年末年始、祝日休館）

利用者：10人（身体障がい者5人 高齢者5人）

(4) 長瀬市民センター

長瀬市民センターは、市からの受託事業で、市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用延べ人数(人)	1,126	885	1,663	1,055	685	1,122	
開館日数(日)	26	26	26	27	26	26	
1日平均利用者数(人)	43.3	34.0	64.0	39.1	26.3	43.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数(人)	1,865	1,156	678	1,020	1,104	2,591	14,950
開館日数(日)	26	25	24	24	24	28	308
1日平均利用者数(人)	71.7	46.2	28.3	42.5	46.0	92.5	48.5

	29年度	28年度	27年度
利用延べ人数（人）	14,950	13,464	11,513
1日平均利用者(人)	48.5	44.0	37.4

施設管理事業の評価等

地域の方々をはじめ、高齢者クラブや福祉団体等の活動の場として広く利用されており、カラオケや囲碁などを楽しみながら地域の交流の場になっている。利用者の皆さんが安心して利用できるよう、常に施設点検を行い安全には細心の注意を払うとともに、利用者さんへのあいさつは職員から率先して行い、気持ち良く利用してもらえるよう心掛けている。

2.4 共同募金配分金事業

戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献した。

半世紀以上過ぎた今でも、共同募金にお寄せいただく皆様の善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、毎年10月1日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に積極的に協力している。

お寄せいただいた募金は、長野県共同募金会へ一旦集約され、配分決定のあった民間社会福祉施設、団体に翌年度配分される。

平成29年度募金総額	27,396,721円（目標額 27,272,000円）
内訳 戸別募金	24,967,261円
法人募金	1,548,985円
学校募金	286,259円
職域募金	137,005円
街頭募金	418,072円
その他	39,139円

	上田地区	丸子地区	真田地区	武石地区	合計
戸別募金	17,173,756円	4,716,210円	2,146,006円	931,289円	24,967,261円
法人募金	1,132,660円	371,325円	40,000円	5,000円	1,548,985円
学校募金	227,133円	32,277円	23,549円	3,300円	286,259円
職域募金	84,636円	21,904円	16,011円	14,454円	137,005円
街頭募金	331,794円	47,758円	29,165円	9,355円	418,072円
その他	9,139円	30,000円	0円	0円	39,139円
合計	18,959,118円	5,219,474円	2,254,731円	963,398円	27,396,721円

経年推移(単位:円)

	上田地区		丸子地区		真田地区		武石地区		合計	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
戸別募金	17,496,885	17,742,371	4,857,852	4,847,764	2,243,056	2,212,651	969,275	991,680	25,567,068	25,794,466
法人募金	1,313,908	1,105,086	308,334	340,801	43,000	58,000	3,000	3,000	1,668,242	1,506,887
学校募金	211,909	170,051	39,044	31,868	31,244	28,625	2,086	140	284,283	230,684
職域募金	80,530	71,506	20,245	21,952	16,266	22,418	9,653	4,975	126,694	120,851
街頭募金	326,203	350,202	27,349	29,086	25,737	15,722	12,931	4,727	392,220	399,737
その他	158,477	195,100	0	0	0	0	0	0	158,477	195,100
合計	19,587,912	19,634,316	5,252,824	5,271,471	2,359,303	2,337,416	996,945	1,004,522	28,196,984	28,247,725

共同募金配分金事業の評価等

赤い羽根共同募金は、戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民たすけあい」の精神を基に始められ、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する大きな役割を果たしてきた。

毎年10月1日から全国一斉に、「じぶんの町を良くするしくみ」をキャッチフレーズとして実施されている。

平成29年度の共同募金運動は、新規の法人開拓や募金箱設置等の協力を呼びかけた。社協職員にも広く呼びかけ街頭募金を行った。目標額には達成したものの年々、募金実績は減少の一途をたどっている。地域の皆様に対して、募金活動の趣旨や募金の使用用途の周知方法やご理解いただけるような方法等を検討していく。配分団体においても共同募金の主旨を理解し活動していただけるよう周知に努める。

25 地域包括支援センター(市受託事業)

(1) 神川地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の4人体制で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・ 高齢者の実態把握及び介護予防支援計画の作成
- ・ 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・ 高齢者虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業
- ・ 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・ 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援・啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

相談件数の推移（単位：件）

総合的な 相談・支援		権利擁護		介護予防 ケアマネジメント		包括的・継続的 ケアマネジメント		合 計	
29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
1,389	717	549	452	1,419	1,704	861	643	4,218	3,516

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	71	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	81	地域リハビリテーション、健康広場、いきいきサロン、ふれあい事業、茶話会等
会議・研修等	229	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	348	認知症高齢者や精神疾患を抱える方、個別事例に対する入退院支援、医療機関から在宅へ向けての支援、高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他連携
介護支援員専門員に対する支援	38	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	92	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの台帳による訪問
介護予防プラン作成件数	5	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,300	事業対象者並びに要支援1・要支援2の認定を受けた高齢者に対する介護予防支援計画の作成・サービス調整等

ウ その他

(ア) 地域リハビリテーション活動支援事業の推進を図るとともに、新たに開催を考えている地域への支援を行った。(8地域で実施)

(イ) 介護予防地域支援事業として「軽い体操と頭のトレーニングについて」「熱中症予防について」「介護保険について」等、地域で講座を開催した。

(ウ) 認知症の正しい理解をしていただき、地域での見守り活動へつなげてもらうために、民生児童委員や地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。(2回開催 35人参加)

(エ) 地域の介護支援専門員(ケアマネージャー)が抱える困難な事例についての支援・アドバイスをはじめ、研修会の実施やネットワーク作り等、要支援・要介護高齢者等を支えるケアマネージャーの支援に努めた。

(オ) 担当区域の民生委員・児童委員会定例会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。

- (カ) 地域ケア会議を開催し、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。(4回開催)
- (キ) 実態把握調査、介護認定調査を行った。
- (ク) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (ケ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応を行った。
- (コ) 「神川包括だより」を発行し、地域包括支援センターの役割や地域で行われている福祉活動の紹介、介護保険制度や消費者被害防止等の情報提供に努めた。(年4回 自治会回覧)
- (サ) 地域密着型施設の運営推進会議に出席し、利用者が安心して利用できるようサービス向上への取り組みに努めた。(9施設)
- (シ) 看護学生並びに社会福祉士等の医療・福祉の国家資格取得を目指す実習生の受け入れを行い、人材育成に協力した。

(2) 丸子地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人と非常勤の看護師、介護支援専門員の2人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・高齢者の実態把握および介護予防プラン作成
- ・高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・高齢者虐待防止及び早期発見等の権利擁護事業
- ・支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・地域ふれあいの会やサロン活動への支援

ア 相談内容・人数 (電話・来所・訪問)

相談件数の推移 (単位: 件)

総合的な 相談・支援		権利擁護		介護予防 マネジメント		包括的・継続的 ケアマネジメント		合 計	
29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
2,201	1,854	177	109	3,243	3,612	571	419	6,192	5,994

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	19	介護相談、虐待相談、支援困難ケース対応、配食業者からの連絡対応等
介護予防活動講演、実技等	11	地域サロン、地域リハビリテーション、認知症サポーター養成講座等

会議・研修等	118	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、介護保険運営協議会、地域密着型サービス運営推進会議、県・市主催の研修等
医療・関係機関との連携	420	退院調整会議、ケースカンファレンス、行政機関や関係機関との訪問や会議等
介護支援員専門員に対する支援	25	支援困難ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	179	民生委員・児童委員からの台帳より訪問
介護予防プラン作成件数	30	生活支援型ヘルパー、配食サービス、生きがい対応型デイサービスのプラン作成
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	2,427	事業対象者・要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) 地域リハビリテーション事業の推進を図り、平成29年度は新たに3ヶ所で事業が始まった。
- (イ) 介護予防地域支援事業として、「健康に関すること・介護保険に関すること・体操」等、地域で講座を開催した。
- (ウ) 高齢者が増えていく中で、認知症の正しい理解をしてもらうために高校生を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。
- (エ) 来所、電話等での新規相談が多く、必要に応じサービスや関係機関につなげた。特に緊急のあるケースは早期対応に努めた。
- (オ) 支援困難ケースが多く、関係機関と連携を図りながら対応した。
- (カ) 独り暮らし、高齢者世帯台帳をもとに実態把握を行った。
- (キ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (ク) 勤務時間外は携帯電話による24時間緊急体制をとり対応を行った。
- (ケ) 民生委員・児童委員会に出席し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。
- (コ) 地域ケア推進会議（武石包括合同で1回）、地域ケア個別会議（5回）を開催した。
- (サ) 丸子地域における地域密着型サービス事業所の運営推進会議に出席した。
- (シ) 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。
- (ス) 年3回（6、9、2月）「地域包括支援センター便り」を発行し、センターの活動や介護保険、介護予防に関する広報活動に努めた。

(3) 真田地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤3人で、地域の高齢者の皆さんや家族の方々が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・ 高齢者の実態把握、介護予防支援計画及び介護予防ケアマネジメント支援計画の作成
- ・ 高齢者、家族、地域住民等に対する総合的相談及び支援
- ・ 高齢者虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業
- ・ 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・ 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援・啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

相談件数の推移（単位：件）

総合的な 相談・支援		権利擁護		介護予防 ケアマネジメント		包括的・継続的 ケアマネジメント		合 計	
29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
1,148	715	48	88	1,402	1,882	109	42	2,707	2,727

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	1	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	33	いきいきサロン、ふれあい広場、地域リハビリテーション、運動教室（笑顔で元気）、認知症サポーター養成講座等
会議・研修等	233	民生委員・児童委員会、地域包括担当者会議、県・市主催の研修会、各施設運営推進会議等
医療・関係機関との連携	238	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、医療機関から在宅へ向けての支援（認知症独居高齢者の退院の支援について等）高齢者虐待等における行政・警察・成年後見・関係機関等との連携、その他連携
介護支援員専門員に対する支援	9	支援困難ケースへの対応・支援、研修会の開催
高齢者実態把握	108	新規相談者並びに民生委員・児童委員からの台帳により訪問
介護予防プラン作成件数	26	配食サービス、訪問指導
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画件数	1,721	事業対象者・要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) 地域リハビリテーションを開始した。(2 自治会・戸沢、四日市)
8 自治会で地域リハビリテーションを継続した。
- (イ) 認知症の正しい理解をしてもらうために、小学生、福祉推進委員、福祉委員、自治会を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。(4 回開催 168 人参加)
- (ウ) 地域ケア会議を 4 回開催した。
- (エ) 総合福祉センターで運動教室～笑顔で元気～を月 1 回開催した。(12 回開 91 人参加)
- (オ) 健康や介護保険等について健康福祉講座を行った。
- (カ) 民生委員・児童委員会に出席し、包括支援センターの活動内容の紹介と関係づくりに努めた。
- (キ) 真田地域における地域密着型施設の運営推進会議に出席した。
- (ク) 実態把握を行った。
- (ケ) 看護学生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。
相談援助実習生の実習受け入れを行い、人材育成に協力した。
- (コ) 独居・高齢者世帯・認知症高齢者が増えていく中、相談は敏速に専門分野ごと満足いただける相談、情報提供を心がけ対応をした。
- (サ) 真田地域に毎月全戸配布の「真田生き生きふるさと通信」の 1 ページを年 3 回担当し、高齢者と関わる包括業務の記事を掲載し包括の周知に心がけた。
- (シ) 各種研修会に参加し自己研鑽に努めた。
- (ス) 勤務時間外は携帯電話にて 24 時間緊急対応体制をとり対応を行った。

(4) 武石地域包括支援センター事業

専門職の看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の常勤の専門職 3 人で、地域の高齢者を中心に全ての地区住民が、住み慣れた地域で安心して生活を送っていただくことを目的とし、地域福祉の拠点となるよう事業を実施した。

- ・ 高齢者の実態把握及び介護予防支援計画の作成
- ・ 高齢者や家族、地域住民等、生活に困難を抱える住民に対する総合的相談及び支援
- ・ 虐待防止及び早期発見、消費者被害防止等の権利擁護事業
- ・ 支援困難ケースへの対応など介護支援専門員への支援
- ・ 地域による高齢者障害者の支援ネットワークの構築
- ・ 高齢者の社会参加や自立支援を促進するための地域活動への支援・啓発
- ・ 高齢者サロンの企画立案・実施
- ・ 高齢者主体の自治会活動の啓発

ア 相談内容・人数（電話・来所・訪問）

相談件数の推移（単位：件）

総合的な 相談・支援		権利擁護		介護予防 マネジメント		包括的・継続的 ケアマネジメント		合 計	
29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
652	451	139	132	1,876	1,708	412	108	3,004	2,393

イ 事業内容

	回数	内 容
夜間緊急相談実績回数	75	介護保険について、介護相談等
介護予防活動講演、実技等	55	健康広場、いきいきサロン、ふれあい広場 認知症サポーター養成講座開催等
会議、研修等	157	民生委員・児童委員会、地域ケア担当者会議、県・ 市主催の研修等
医療・関係機関との連携	212	医療機関、その他との連携 個別事例に対するサービス担当者会議開催支援、 質の向上のための研修、ケアマネージャーへの指 導など
介護支援専門員に対する支援	14	困難支援ケースへの対応・支援
高齢者実態把握	79	民生委員・児童委員からの台帳、当事者・高齢者 支援係からの依頼により訪問
介護予防プラン作成件数	7	生活支援型ヘルパー、配食サービス、訪問指導 生きがい対応型デイサービスのプラン作成 介護予防事業
介護予防支援・介護予防ケアマネ ジメント支援計画件数	1,774	事業対象者・要支援1・要支援2

ウ その他

- (ア) 武石地域6ヶ所、丸子地域4ヶ所の地域リハビリテーション開催により参加し協力した。
- (イ) 総合事業によるミニデイの介護予防ケアマネジメントと要支援の人の介護予防支援を行った。
- (エ) 市武石高齢者支援係と社協武石地区センターと協働して、サロンを行ない介護予防の必要性についての啓発と健康運動士の指導による体操を毎月行った。（武石地域）
- (オ) 地域ケア会議を3回開催した。（内個別地域ケア会議1回）
- (カ) 各種研修会に積極的に参加し自己研鑽に努めた。
- (キ) 社会福祉士実習生と看護師実習生の受け入れを行い人材育成に協力した。

- (ク) 民生委員・児童委員会に3職種(看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員)交代で参加し、地域包括支援センターの活動内容の紹介と事例報告などを行い、連携への協力を求めた。
- (ケ) 勤務時間外は携帯電話にて24時間緊急対応体制をとり対応した。

地域包括支援センター事業の評価等

地域の中核機関である相談窓口として、高齢者の福祉や介護、権利擁護に関する相談や関係機関との連携を強化し、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援した。

【神川地域包括支援センター】

地域特性等が影響する生活環境面も含め、孤立化しやすい高齢者に対する支援の重要性、またその支援に対する困難性に直面する中で、地域包括支援センター3職種の協力体制を基本に、行政・医療・福祉・保健の各専門機関、並びに関係する地域の協力者・事業者と連携を図り対応にあたってきた。

地域包括ケアシステム構築のためには、更なる関係機関並びに地域協力者等と連携を図るための体制づくりが欠かせない状況である。

【丸子地域包括支援センター】

地域が広範囲に渡り高齢者人口も多い丸子地域で、日々の相談への迅速・丁寧な対応や関係機関との連携から地域課題を把握し、解決に向けて関係者と対応した。地域共生社会の実現に向けて、なお一層、地域の協力者や事業者とも連携して行く必要がある。

【真田地域包括支援センター】

市の総合事業の介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを行ない利用者の自立支援につながるプランを一緒に立てた。高齢化、過疎化など地域の様々な福祉課題に沿った対応が必要になってきているため地域ケア会議など関係者と連携をはかりながら地域包括ケアに向けた取り組みを今後も行っていく。

【武石地域包括支援センター】

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの利用者数が年々増加するとともに、高齢世帯・独居世帯、家族関係の複雑な問題等からくる支援困難ケースの相談が寄せられ対応を行っている。介護予防活動として、武石地域で月2回の「楽しい会!!」の企画・運営を行い、介護予防活動を活発に行っている。地域の様々な福祉課題に対応するため、関係機関との連携を強化し、地域包括ケアシステムを構築していく。

2 6 通所介護事業(介護保険事業)

(1) 中央デイサービスセンター事業

身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施した。

また、日常生活動作、特に立ち上がりや座る動作、階段昇降に使われる下肢筋力を意識して運動するように目的を明確化している。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1日の利用者 定員数 25人
開所日数(日)	25	27	26	26	27	26	
利用者(人)	435	486	486	501	555	534	
ボランティア数(人)	35	11	10	41	14	13	
1日平均利用者(人)	17.4	18.0	18.7	19.3	20.6	20.5	
平成28年度 1日平均利用者(人)	18.6	17.8	19.1	18.6	16.9	17.0	
平成27年度 1日平均利用者(人)	15.1	17.5	18.6	20.0	18.9	20.0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	26	26	26	24	24	27	310
利用者(人)	533	522	475	420	454	508	5,909
ボランティア数(人)	8	9	28	13	10	10	202
1日平均利用者(人)	20.5	20.1	18.3	17.5	18.9	18.8	19.0
平成28年度 1日平均利用者(人)	16.4	15.8	15.2	16.0	17.6	16.4	17.1
平成27年度 1日平均利用者(人)	19.9	20.5	19.9	19.2	18.5	19.6	19.0

イ 主な行事

・お花見	4月20日(木)～21日(金)	38人
・こいのぼり見学	5月5日(金)	17人
・買い物ツアー	6月1日(水)～6月30日(木)	38人
・買い物ツアー	9月1日(木)～9月30日(金)	38人
・薔薇お花見	6月8日(木)～12日(月)	58人
・あじさい見学	7月17日(月)	19人
・外食	7月18日 21日 26日 27日	25人
・七夕祭り	8月7日(月)	23人
・夏祭り	8月16日(火)	16人
・かき氷作り	8月7日(月)	23人
・運動会	10月16日・18日・18日・19日	68人
・高齢者文化祭	10月22日(土)	16人
・紅葉ツアー	11月15日(火)～18日(金)	71人
・お楽しみ会	12月7日・8日・12日・13日	64人
・園児と交流	12月15日(金)	20人
・まゆ玉作り	1月12日(金)～13日(土)	32人

・節分豆まき	2月3日(金)	19人
・ひな祭り	3月3日(金)	15人
・抹茶会	10月 11月 2月 各月1回	52人
・お誕生日会	毎月	

通所介護事業(中央デイサービスセンター)の評価等

中央デイサービスセンターの目標として、職員一同利用者に対して、尊敬の気持ちを持って接すること、利用者が気持ちよく通所出来ることを目指してきた。そこで、本人の自立支援、家族との連携、家族の思いを傾聴することに努めてきた。また、個別訓練・レクリエーション等のサービスを通し、心身機能の向上を図り、介護者の軽減を図ることを実施した。

サービスの内容については、通所介護計画書に沿って提供し、一人ひとりの利用者に寄り添って生きがいを持てるようにサポートしてきた。そして、コミュニケーションがスムーズに行えるように配慮し状況に応じて行った。

(2) 神川デイサービスセンター事業

この事業は身体の障がい、虚弱等のため介護が必要な方が日中通所して、日常動作訓練・給食・入浴・レクリエーション等のサービスを受けることにより、心身機能の維持向上を図るとともに、社会的孤立感の解消・介護者の負担軽減を図ることを目的に実施した。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1日の利用者 定員数 25人
開所日数(日)	25	27	26	26	27	26	
利用者(人)	396	457	449	466	469	441	
ボランティア数(人)	10	20	47	26	145	23	
1日平均利用者(人)	15.8	17.0	17.3	17.9	17.4	17.0	
平成28年度 1日平均利用者(人)	19.0	19.5	21.4	21.4	20.8	20.8	
平成27年度 1日平均利用者(人)	22.0	21.8	21.8	21.4	21.2	20.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	26	26	26	24	24	27	310
利用者(人)	398	408	432	407	387	413	5,123
ボランティア数(人)	12	82	62	5	16	26	474
1日平均利用者(人)	15.3	15.7	16.6	17.0	16.1	15.3	16.5
平成28年度 1日平均利用者(人)	18.7	17.9	17.0	16.4	17.5	16.7	18.9
平成27年度 1日平均利用者(人)	21.1	20.5	20.8	20.0	20.0	19.4	20.9

イ 主な行事

・水仙祭り	4月3日(月)～7日(金)	31人
・お花見鯉のぼり	4月20日(木)～5月3日(水)	29人
・真田つつじ祭り	5月9日(火)～5月17日(水)	29人
・外食かっぱ寿司	6月5日(月)～27日(火)	29人
・ラベンダー祭り	7月3日(月)～7日(金)	31人
・七夕まつり	8月1日(火)～4日(金)	73人
・運動会	10月16日(月)～19日(木)	59人
・紅葉巡り	11月6日(金)～10日(金)	22人
・出前ラーメン	11月6日(月)、11月14日(火) 22日(水)、30日(木)	63人
・利用者忘年会	12月11日(月)～14日(木)	62人
・繭玉作り	1月9日(火)、10日(水)	23人
・節分	2月3日(金)	18人
・雛祭り	3月3日(金)	17人
・外出、ファッションモールはなおか 及び やおふくへ買い物		18人
・第一中学校との交流会	年2回	・神川小学校との交流会 年1回
・誕生日会	随時	

ウ ボランティア

・ギターフォーラム	年4回	・花柳社中	年2回
・花一輪	年4回	・仲良しグループ	年4回
・川西フォークダンスクラブ	年1回	・侍学園	年1回
・花水木の会	年3回	・あやばに	年1回
・夢クラブ	年2回	・藤華久三社中	年1回
・真田太鼓	年1回	・びっくり箱の会	年1回
・こまくさ会	年1回	・個人ボラ(尺八、ハーモニカ)	年1回
・お話しボランティア	月、木曜日	週1回	

エ その他

・サマーチャレンジボランティア受入	3人
・介護体験学生受入	6人
・職場体験受入	3人
・スプリングチャレンジボランティア受け入れ	4人

通所介護事業の(神川デイサービスセンター)評価等

日中活動を充実させ、ご利用者お一人お一人に寄り添うサービスを提供することを心がけるとともに、季節季節の外出行事を実施しすることにより季節を感じ、生きがいと張り合いを持てるよう努めた。個別訓練・レクリエーション等のサービスを通し、心身機能の向上を図り、介護者の軽減を図る事を実施した。また、複合型福祉施設の特徴を活かし、児童センターと世代を超えた交流を図り、地域包括支援センターと密接な連携を図った。

介護体験や職場体験の学生、介護や看護学生実習も多くの受入れを行い、福祉の担い手の育成にも努めた。

(3) 武石デイサービスセンター事業

在宅で生活されている要介護、要支援の高齢者に利用していただき、食事や入浴はもとより、リハビリ体操、レクリエーション等を通じて残存機能の維持向上を目指すとともに、季節ごとの行事や利用者同士のふれいあいを大切にした行事をたくさん取り入れ、心身ともに活性化が図れるようサービス提供に努めた。また、在宅生活を維持するため、介護者からの相談にもよりそい、負担軽減に努め、利用者の増加と経費削減に取組実施した。

ア 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1日の利用者 定員数 35人
開所日数(日)	30	31	30	31	31	30	
利用者(人)	529	550	501	497	481	474	
ボランティア数(人)	1	2	0	0	0	0	
1日平均利用者(人)	17.6	17.4	16.7	16.0	15.6	15.8	
平成28年度 1日平均利用者(人)	17.1	17.5	18.4	17.9	18.2	19.2	
平成27年度 1日平均利用者(人)	20.3	20.2	19.6	21.1	22.0	22.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	29	30	30	28	28	31	359
利用者(人)	483	474	442	388	369	432	5,620
ボランティア数(人)	1	9	48	0	0	2	63
1日平均利用者(人)	16.7	15.8	14.7	13.9	13.2	13.9	15.7
平成28年度 1日平均利用者(人)	19.6	18.3	16.6	13.1	14.6	16.4	17.3
平成27年度 1日平均利用者(人)	23.9	22.3	22.5	21.2	20.2	19.9	21.4

イ 主な行事

(ア) 施設内

・おやつ作り	5月8日(月)～6月25日(日)	72人
・手づくな	4月21日(金)～6月27日(火)	58人
・やすらぎ祭り	8月7日(月)～8月16日(水)	85人
・文化祭準備	9月2日(土)～10月19日(木)	143人
・おはぎづくり・春・秋 彼岸		144人
・園児との交流会	6・7・10・11・12月 計5回	168人
・ミニ運動会	10月8日(日)～10月18日(水)	74人
・正月準備	11月15日(水)～12月27日(水)	101人
・忘年会	11月29日(水)～12月10日(日)	76人
・節分・豆まき	2月3日(金)	12人
・寿司バイキング	2月22日(木)・3月16日(金)	34人
・ひなまつり	2月21日(水)～3月3日(土)	78人
・ぼたもち作り	3月9日(木)～28日(火)	104人

(イ) 屋外行事

・お花見	4月 計6回(水仙・花桃)	115人
・あさつゆ食事ツアー	9月29日(金)～10月5日(木)	19人

(ウ) 誕生会

- ・毎月1回(該当者 写真贈呈)

(エ) ボランティア行事

・フラダンス	年1回	・なかよしクラブ	年1回
・ギターフォーラム	年1回	・大正琴	年1回
・個人ボランティア演奏	年2回	・日本舞踊	年1回
・chi-ku 竹庵 (ダンス、歌、話し相手、手作りプレゼント)			年2回
・個人 お茶出し・話し相手(学生 含む)		随時	

通所介護事業(武石デイサービスセンター)の評価等

常に安全第一はもとより、利用者個々に寄添い安心のできるサービス提供を心がけている。利用者の高齢化(平均89歳)が進んで、年間通してショートステイ、または冬季入所する方が増加し、全体的に減少傾向になっている。このため、経営的にも厳しい状況になってきているが、利用者の確保にむけて今後も広く市民へPRを進めていく。

職員の資質向上と専門職としての意識を高めるよう、研修への参加や資格取得も積極的に実施している。また、介護体験や職場体験の学生、介護や看護学生実習もできる限り受入れ、福祉の担い手の育成にも努めた。

2 7 居宅介護支援事業(介護保険事業)

介護保険制度の始まりから17年が経過し、この間に3年おきの改正が行われた。上田市社協は公正中立な立場を保った介護保険事業者として、長年培った介護のノウハウを活かしながら、利用者の自立支援を目指して各種介護サービスを行った。

(1) 介護相談センター事業・神川介護相談センター事業・丸子介護相談センター事業

可能な限り住み慣れた居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心身の状況やおかれている環境等に応じて、常に利用者の立場にたった支援に努めた。

ア 業務内容

- ・ 介護保険代行（更新・申請含む）
- ・ 介護に関する相談
- ・ ケアプラン作成
- ・ サービス担当者会議
- ・ サービス計画の実施状況の把握・モニタリング
- ・ 必要に応じサービス計画の変更、サービス事業者との連絡調整
- ・ 上田市特例措置制度利用認定利用者の申請代行
- ・ 認定調査（要支援・要介護認定）及び調査票作成

イ 介護支援専門員

- ・ 介護相談センター：正規専任3人 嘱託兼務1人 嘱託専任1人、
臨時専任1人 嘱託事務1人 … 計7人
- ・ 神川介護相談センター：正規専任3人 嘱託専任1人 … 計4人
- ・ 丸子介護相談センター：正規専任2人 嘱託専任1人 … 計3人

ウ 利用者件数 (単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	190	188	188	192	192	188	184	181	175	181	178	172	2,209
神川介護相談センター	130	130	128	130	128	130	127	135	135	142	142	128	1,585
丸子介護相談センター	101	105	108	106	104	106	106	111	112	109	100	104	1,272
合計	421	423	424	428	424	424	417	427	422	432	420	404	5,066

エ 認定調査状況 (単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	0	3	3	5	2	3	1	0	2	2	5	6	32
神川介護相談センター	0	1	0	0	0	3	2	4	5	2	2	1	20
丸子介護相談センター	4	5	3	3	3	3	1	4	1	1	6	1	35
合計	4	9	6	8	5	9	4	8	8	5	13	8	87

オ ケアプラン作成状況

(単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	168	169	175	173	175	176	170	166	157	162	160	156	2,007
神川介護相談センター	115	120	117	119	117	117	122	123	126	128	132	125	1,461
丸子介護相談センター	96	99	103	102	102	102	103	109	109	109	97	101	1,232
合 計	379	388	395	394	394	395	395	398	392	399	389	382	4,700

カ 住宅改修費理由書作成にかかる事務手続状況

(単位 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談センター	0	0	1	0	2	1	1	1	0	0	0	1	7
神川介護相談センター	0	1	0	1	0	1	1	2	1	2	0	2	11
丸子介護相談センター	0	1	2	1	1	0	2	2	2	1	2	1	15
合 計	0	2	3	2	3	2	4	5	3	3	2	4	33

ウ～オ経年推移

	介護相談センター			神川介護相談センター			丸子介護相談センター		
	29年	28年	27年	29年	28年	27年	29年	28年	27年
利用者件数 (件)	2,209	2,311	2,405	1,585	1,639	1,755	1,272	1,287	1,323
認定調査状況 (件)	32	13	7	20	18	37	35	31	32
ケアプラン作成状況 (件)	2,007	2,054	2,216	1,461	1,523	1,633	1,232	1,287	1,296

居宅介護支援事業の評価等

利用者の尊厳を大切に、利用者・家族との信頼関係を築き、医療機関やサービス事業所との連携を図ることに努め、また、住み慣れた地域で生活が保持できるように支援してきた。

しかしながら、冬期・夏期の老健施設への入所、民間企業による介護付き高齢者住宅の増加などにより、在宅の要介護3以上の高齢者の減少がみられる。あわせて、軽度要介護者の要支援への移行の増加により、当事業所の利用者も減少傾向にある。

今後も、質の高いケアマネジメントと利用者への円滑なサービス提供を行えるように研修等に参加し、選ばれる事業所を目標に、さらに努力を重ねていきたい。

28 児童館事業(市受託事業)

(1) 上田地区児童館

この事業は、「児童福祉法」第40条に規定されている児童厚生施設として、上田市が設置した2児童館・6児童センターを平成9年度から上田市社会福祉協議会が管理運営している。

児童館・児童センターは地域の子どもたちに安心して遊べる場を提供し、いろいろな遊びや活動を通して、健康で情操豊かな子どもを育てることを目的としている。

開館時間は、平日は午後1時から午後6時まで、土曜日や長期休み等小学校の休業日は午前9時から午後6時までである。

近年、保護者の就労等で留守家庭が増えていることから、その対策として、小学校から直接来館する下校途中の利用、また平成17年3月の春休みからは、学校休業日に弁当持参での利用ができるようになっており、児童の放課後の居場所として、ますます重要度を増している。また、対応が難しい児童や特別な支援を必要としている児童の利用が増えているため、様々な研修会に参加し職員のスキルアップに努めた。

ア 地区懇談会

朝日が丘児童館	5月18日(木)	緑が丘児童館	5月29日(月)
川辺町児童センター	5月25日(木)	秋和児童センター	6月9日(金)
東塩田児童センター	5月26日(金)	大星児童センター	6月2日(金)
神科児童センター	5月22日(月)	神川児童センター	5月16日(火)

イ 研修会への参加

教育委員会主催 放課後児童クラブスキルアップ研修会

子育て・子育て支援課主催 発達障がい支援者向け講演会

長野県生涯学習推進センター主催 地域の教育力向上研修会

ファミリー・サポート・センター講習会(支援を必要としている子への対応等)

救急法講習会3回。感染症・食中毒、防火・防災対策研修会

上小ふれジョブ連絡協議会主催 講演会

ウ その他

年間を通して、季節や伝統の行事、工作や手芸、プレゼント作りなどの制作、ドッジボールや卓球、バドミントンなどの体育的活動、毎月のお話の会、囲碁将棋の会、講師によるコンサートなどを実施した。また毎月児童館だよりを発行し小学校に配布したほか、自治会にも回覧して地域の方に行事や活動への参加を呼びかけた。サマーチャレンジボランティア、スプリングチャレンジボランティア、また地域の方のボランティアや実習生の受け入れをした。

児童館利用状況

月	内 訳	朝日が丘 児童館	緑が丘児 童館	川辺町児童 センター	秋和児童 センター	東塩田児童 センター	大星児童 センター	神科児童 センター	神川児童 センター	月計
4	利用者数(人)	1,403	1,002	1,827	765	1,002	2,239	2,335	1,452	12,025
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	58.5	41.8	76.1	31.9	41.8	93.3	97.3	60.5	62.6
5	利用者数(人)	1,270	916	1,736	740	1,175	2,288	2,694	1,621	12,440
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	52.9	38.2	72.3	30.8	49.0	95.3	112.3	67.5	64.8
6	利用者数(人)	1,341	1,110	1,978	739	1,232	2,471	2,904	1,730	13,505
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	51.6	42.7	76.1	28.4	47.4	95.0	111.7	66.5	64.9
7	利用者数(人)	1,509	1,110	1,949	724	1,253	2,151	2,620	1,656	12,972
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	60.4	44.4	78.0	29.0	50.1	86.0	104.8	66.2	64.9
8	利用者数(人)	1,207	1,015	1,687	623	1,034	1,769	2,500	1,423	11,258
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	52.5	44.1	73.3	27.1	45.0	76.9	108.7	61.9	61.2
9	利用者数(人)	1,093	908	1,693	548	1,213	1,999	2,360	1,478	11,292
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	45.5	37.8	70.5	22.8	50.5	83.3	98.3	61.6	58.8
10	利用者数(人)	1,122	954	1,889	511	1,237	1,962	2,630	1,586	11,891
	開館日数(日)	25	25	25	25	25	25	25	25	200
	1日平均利用者(人)	44.9	38.2	75.6	20.4	49.5	78.5	105.2	63.4	59.5
11	利用者数(人)	1,262	946	1,789	569	1,133	1,969	2,466	1,418	11,552
	開館日数(日)	24	24	24	24	24	24	24	24	192
	1日平均利用者(人)	52.6	39.4	74.5	23.7	47.2	82.0	102.8	59.1	60.2
12	利用者数(人)	1,218	878	1,789	335	1,150	1,749	2,507	1,514	11,140
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	53.0	38.2	77.8	14.6	50.0	76.0	109.0	65.8	60.5
1	利用者数(人)	689	620	1,318	333	831	1,359	1,934	1,146	8,230
	開館日数(日)	20	20	20	20	20	20	20	20	160
	1日平均利用者(人)	34.5	31.0	65.9	16.7	41.6	68.0	96.7	57.3	51.4
2	利用者数(人)	813	795	1,481	342	956	1,606	1,938	1,286	9,217
	開館日数(日)	23	23	23	23	23	23	23	23	184
	1日平均利用者(人)	35.3	34.6	64.4	14.9	41.6	69.8	84.3	55.9	50.1
3	利用者数(人)	1,232	1,114	1,909	586	1,054	1,685	2,351	1,270	11,201
	開館日数(日)	26	26	26	26	26	26	26	26	208
	1日平均利用者(人)	47.4	42.8	73.4	22.5	40.5	64.8	90.4	48.8	53.8
累 計	利用者数(人)	14,159	11,368	21,045	6,815	13,270	23,247	29,239	17,580	136,723
	開館日数(日)	287	287	287	287	287	287	287	287	2,296
	1日平均利用者(人)	49.3	39.6	73.3	23.7	46.2	81.0	101.9	61.3	59.5
平成 28年 度 累計	利用者数(人)	13,870	11,109	19,755	5,777	10,231	24,724	27,108	18,774	131,348
	開館日数(日)	287	287	287	287	287	287	287	287	2,296
	1日平均利用者(人)	48.3	38.7	68.8	20.1	35.6	86.1	94.5	65.4	57.2
平成 27年 度 累計	利用者数(人)	15,554	12,658	19,887	6,222	9,238	19,635	29,917	22,111	135,222
	開館日数(日)	288	288	288	288	288	288	288	288	288
	1日平均利用者(人)	54.0	44.0	69.1	21.6	32.1	68.2	103.9	76.8	58.7

(2) 丸子地区児童館

開館時間：平日（5月～10月午後3時30分～午後5時30分、11月～4月午後3時00分～午後5時00分）

長期休み：午後1時～午後5時（夏休みは午後1時00分～午後5時30分）

下丸子児童館利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	75	109	153	107	87	77	
開館日数	20	20	22	19	19	20	
1日平均利用者	3.8	5.5	7.0	5.6	4.6	3.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	71	50	47	46	45	116	983人
開館日数	21	21	18	17	19	21	237日
1日平均利用者	3.4	2.4	2.6	2.7	2.4	5.5	4.1人

利用状況の推移

	利用者数（人）	開館日数（日）	1日平均利用者数（人）
29年度	983	237	4.1
28年度	1,007	238	4.2
27年度	711	240	3.0

児童館事業の評価等

児童館では、児童が期待を持って来館し、楽しく取り組めるような行事や活動（工作や様々な運動）を実施し、好評だった。利用人数は児童館の立地条件、地域性などにより差はあるが、保護者の就労に伴い、昨年度より増加した館が多かった。

毎月1回、施設内外の安全点検を実施し、危険個所の早期対応に努め、避難訓練の実施や安全管理の研修会、救急法の講習会に参加し、安全管理に努めた。

発達障がい児童は、コミュニケーションが苦手、落ち着きがないなどの特徴があり、児童館の生活に慣れるまで、時間がかかることも多かった。職員は、発達障がいの研修会等に参加し、発達障がいへの理解を深め、対応の仕方等を職員間で話し合い、個々に合った分かりやすい支援に心がけた。また、必要に応じ、保護者、小学校、専門機関と連携を図ることで、徐々に落ち着いていった。

今後も、毎年現状を見直し、職員の資質向上に努め、児童や保護者の安心に繋げていきたい。

29 その他の事業

(1) 児童福祉

〈上田地区センター〉

ア 子育て中の親を対象に、交流の場づくりとリフレッシュを目的として事業を行った。

(ア) 子育て支援事業

・ベビーダンス教室 9月7日(木)開催 参加者12組

〈丸子地区センター〉

ア 親子の絆を深め子育て中の親子を応援するための教室等を開催することで、子育て支援を行う。29年度は託児サポーターを養成し、子どもの預かりも行なった。

(ア) 親子教室「みんなおいであそぼうよ」 3回開催 参加者計27組

(イ) 親子でベビーダンス教室 1回開催 参加者16組

(ウ) ママのリンパケア 2回開催 参加者計13人

(エ) アウトドア体験 in 丸子 荒天のため中止

(オ) 発達障がいについての学習会 2回開催 参加者計35人

(カ) 丸子子育てサロン交流事業(上田市と共同開催)

・ものづくり 2回開催 参加者計30人

(2) 高齢者福祉

〈上田地区センター〉

ア 上田市高齢者クラブ連合会及び上田地域福寿クラブ連合会事務局

(ア) 高齢者クラブ数 福寿クラブ連合会 41単位クラブ 2,463人

(イ) 会議、行事等

・平成28年度福寿クラブ会計監査 4月4日(火)

・総務教養部・女性部会議 4月11日(火)

・社会福祉部・保健部会議 4月12日(水)

・理事会・代議員会 4月18日(火)

・表彰審査委員会 5月9日(火)

・長野県老連主催 東信地区ブロック研修会 6月7日(水)

・第33回福寿クラブ定期大会 6月9日(金)

・第25回シルバースポーツ大会 6月16日(金)

・福寿クラブ指導者研修会 6月28日(水)

・長野県老連主催 女性指導者研修会 7月18日(火)

・第35回ファミリースポーツ大会 8月6日(日)

・グラウンドゴルフ講習会 8月22日(火)

- ・福寿クラブ理事会 8月22日(火)
- ・福寿だより編集委員会 9月5日(火)
- ・第25回福寿クラブゲートボール大会 9月6日(水)
- ・奉仕友愛活動 紙おむつ配布 9月7日(木)、8日(金)
- ・福寿だより編集委員会 9月12日(火)
- ・福寿だより編集委員会 9月21日(木)
- ・第39回うえだ市民ふれあい広場 9月30日(土)
- ・福寿だより第76号発行 10月1日(日)
- ・赤い羽根共同募金運動参加 10月3日(火)、10日(火)、
23日(土)
- ・人権を考える市民のつどい 10月12日(木)
- ・第19回福寿クラブマレットゴルフ大会 10月18日(水)
- ・第58回長野県老人クラブ大会 10月26日(木)
- ・第10回市高齢者クラブマレットゴルフ大会 11月8日(水)
- ・人権啓発担当者研修会 11月11日(土)
- ・山梨県甲州市老連との交流会 11月14日(火)、15日(水)
- ・男性料理教室補助員事前講習会 11月22日(水)
- ・男性料理教室(市内公民館7か所開催) 11月28日(火)～12月12日(火)
- ・福寿クラブ正副会長会 12月15日(金)
- ・市長表敬訪問 1月5日(金)
- ・上田市高齢者クラブ連合会 正副会長会 1月5日(金)
- ・福寿クラブ正副会長会 1月26日(金)
- ・福寿だより編集委員会 1月26日(金)
- ・シルバースポーツ教室 1月29日(月)～2月7日(水)
- ・福寿だより編集委員会 2月13日(火)
- ・福寿クラブ理事会 2月15日(木)
- ・福寿だより編集委員会 2月19日(月)
- ・東信地区リーダー研修会 2月27日(火)
- ・福寿だより第77号発行 3月1日(木)
- ・ファミリースポーツ大会 3月17日(土)
- ・通年事業 金婚祝賀事業 22組
初級、中級パソコン教室の実施
- ・紙おむつ贈呈事業

イ サロン支援事業

上田市ふれあい福祉センターを地域の資源として活用することと周辺自治会のサロン開催につなげることを目的に体操教室を開催した。

- ・ 9月14日（木） セラバンドを使った運動講座 参加者 11人
- ・ 3月13日（火） 楽椅子体操教室 参加者 15人

<丸子地区センター>

ア いきいきフェスティバル

身近な地域において支えあい、自分らしくともに生きる社会の実現に向け皆で考え、理解を深めることを目的として、丸子地域高齢者クラブ連合会、丸子地域健康推進委員会、丸子ボランティア連絡協議会との実行委員会形式により、市の慶祝行事と併せて開催する。

- 6月30日（金）、7月1日（土） 丸子文化会館 参加者 690人
- 記念写真（喜寿、米寿、白寿、長寿、金婚） 47組

イ 丸子地域高齢者クラブ連合会事務局

(ア) 高齢者クラブ数 33 単位クラブ 1,436人

(イ) 会議、行事等

- ・ 理事会、会計監査 4月 5日（水）
- ・ 丸子地域高齢者クラブ連合会総会 4月 17日（月）
- ・ 理事会 6月 5日（月）
- ・ 会長会（出前講座「古き丸子を訪ねて」） 6月 5日（月）
- ・ 県老連東信地区ブロック研修会 6月 7日（水）
- ・ いきいきフェスティバル（シルバー作品展） 6月 30日（金）、7月 1日（土）
- ・ 県老連東信地区女性指導者研修会 7月 18日（金）
- ・ 理事会 9月 8日（金）
- ・ 第22回丸子地域シルバースポーツ大会 9月 26日（火）
- ・ 第58回長野県老人クラブ大会 10月 26日（木）
- ・ 女性部手芸講習会 10月 31日（火）
- ・ 上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 11月 8日（水）
- ・ 視察研修会（静岡県菊川市） 11月 15日（水）、16日（木）
- ・ 冬季スポーツ交流会（全7回） 12月 11日（月）、1月 29日（月）
1月 30日（火）、2月 26日（月）
2月 27日（火）、3月 23日（金）
3月 26日（月）
- ・ 東信地区リーダー研修会 2月 27日（火）～28日（水）

- ・理事会 3月 13日 (火)
- ・まるこ高連だより (年3回発行) 7月、11月、3月

ウ 丸子赤十字奉仕団

(ア) 施設・病院ボランティア

- ・ベルポートまるこ 月1回の話し相手やおやつ作りなどボランティア活動
5月～10月

夏祭りボランティア 7月 16日 (日)

- ・鹿教湯病院祭にてボランティア活動 6月 10日 (土)

(ウ) 丸子地区赤十字奉仕団視察研修会

日本赤十字社長野県支部及び歴史資料館視察 6月 28日 (木)

(イ) いきいきフェスティバルに参加 7月 1日 (土)

(エ) 上田市丸子地域防災訓練 塩川小学校において炊き出し訓練

ハイゼックス包装食袋にて提供 9月 2日 (土)

(オ) いきいき赤十字健康教室 10月 25日 (火)

(カ) 一円玉募金運動 11月～12月

<真田地区センター>

ア 一人暮らし高齢者親睦会の開催

- ・役員会 1回目 4月 27日 (木) 一年間の計画を策定 参加者 9人 真田老人センター
- ・親睦会 6月 16日 (金) ハーモニカ演奏と草笛演奏 参加者 36人
- ・ふれあいの旅 10月 19日 (木) 「あぐりの湯 こもろ」 参加者 36人
- ・役員会 2回目 11月 22日 (水) 名簿確認・ハンドマッサージ 参加者 7人
- ・親睦会 3月 7日 (水) 笑って楽しい認知予防ゲーム 参加者 32人
真田老人センター

イ 真田地域長寿会事務局

(ア) 高齢者クラブ数 17 単位クラブ 1212 人

(イ) 会議、行事等

- ・第 58 回 総会 5月 2日 (火)
- ・東信地区市町村老人クラブブロック研修会 6月 7日 (水)
- ・第 37 回長寿会長杯ゲートボール大会 6月 13日 (火)
- ・第 72 回マレットゴルフ大会 6月 20日 (火)
- ・老人クラブ女性指導者研修会 7月 18日 (火)
- ・第 73 回マレットゴルフ大会 8月 1日 (火)
- ・金婚祝いお届け 9月 15日 (金)
- ・ふれあい広場に参画 9月 9日 (土)
- ・第 40 回体育祭 10月 4日 (水)
- ・第 36 回さわやかゲートボール大会 10月 10日 (火)
- ・にこにこ健康教室 10月 12日 (木)
- ・第 74 回マレットゴルフ大会 10月 17日 (火)
- ・長野県老人クラブ大会 10月 26日 (木)

- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 11月 8日(水)
- ・視察研修旅行 静岡県、浜松市方面 11月12日(日)・13日(月)
- ・東信地区リーダー研修会 2月27日(火)・28日(水)
- ・第8回高齢者の健康を考えるつどい 3月6日(火)

講演会「100歳人生健康に生きる秘訣！」

講師 公益財団法人身体教育医学研究所 研究部長 朴 相俊氏

参加者 130人

- ・他役員会、理事、監事、地域長寿会、女性部長会 7回開催
- ・伝承広場の開催

5月29日(月)菅平小学校、6月28日(水)本原小学校

9月28日(木)傍陽小学校、9月22日(金)長小学校

<武石地区センター>

ア 高齢者サロン事業

高齢者サロン(楽しい会)を4月から22回(内、介護予防体操を11回含む)、延べ1,219人参加した。また、ボランティアメンバーの参加もお願いし、地域住民の交流の場を作ることができた。

イ 高齢者弁当宅配事業

民生委員・児童委員の協力を得て75歳以上の一人暮らしの方を対象に季節感のあふれる弁当を配ることで一人暮らしの中に生活の楽しさを味わってもらうことを目的に実施した。

実施日 12月13日(水)

配食数 85食

料金 無料

ウ 敬老会

武石地域全体で65歳以上の方を対象として、社会への貢献に感謝し長寿を祝い今後の健勝を願って式典と祝宴を実施しました。

日時 9月9日(土)

会場 武石公民館

出席者 250人

エ 武石高齢者クラブ連合会事務局

・地区高齢者クラブ数 14クラブ 会員584人

・老人センター寿楽荘庭手入れ 6月14日(水)9月14日(木)113人

・女性部指導者研修会 7月18日(木)6人

・マレットゴルフ大会 5月26日(金)・8月29日(火)延べ138人

・県大会 10月21日(金)5人

・保育園児との交流 6月2日(金)・7月5日(水)

11月10日(金) 延べ23人

- ・上田市マレットゴルフ大会 11月9日(木) 14人
- ・ニュースポーツ大会 6月14日(水)・1月25日(木) 延べ122人
- ・研修会 10月31日(火)・11月1日(水) 15人
- ・高齢者福祉施設の洗濯物たたみ(女性部) 5月～10月 12回 延べ39人

オ 一人暮らし老人もみじ会事務局

- ・春の研修会 6月28日(水)、29日(木)
- ・秋の研修会 11月9日(木)、10日(金)

(3) 障がい者福祉

ア 車いす貸出し事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が通院、外出等で必要な場合、1か月をめぐりに無料で貸出した。

地区		上田	丸子	真田	武石
貸出件数	29年度	137件	42件	30件	6件
	28年度	178件	51件	17件	9件
	27年度	192件	53件	36件	9件
保有台数		30台	26台	6台	11台

イ 特殊寝台貸与事業

介護保険の福祉用具貸与対象外の高齢者、障がい者等が一時的に日常生活を営むことが困難になった場合、3か月をめぐりに無料で貸出した。

地区		上田	丸子	真田	武石
貸出件数	29年度	3件	2件	1件	0件
	28年度	4件	0件	1件	1件
	27年度	4件	1件	1件	1件
保有台数		4台	2台	1台	4台

<上田地区センター>

ア 上小圏域障害者総合支援センターとの協力と連携

- ・上小地域障害者自立生活支援センター「ウィング」
- ・上小地域就業・生活支援センター「シェイク」
- ・地域活動支援センター「やすらぎ」

イ NPO 法人上田市身体障害者福祉協会等、障がい者団体への協力援助と連携

- ・第43回上小地区障がい者スポーツ大会 5月20日(土)
- ・第68回長野県身体障害者福祉大会運営協力 8月30日(水)

<真田地区センター>

ア 真田町身体障害者福祉協会事務局

- ・第43回上小地区障がい者スポーツ大会 5月20日(土)
- ・総会 5月23日(火)
- ・第68回長野県身体障害者福祉大会 8月30日(水)
- ・第17回長野県障がい者スポーツ大会 9月11日(日)

〈武石地区センター〉

ア 武石身体障害者福祉協会事務局

- ・第43回上小地区障がい者スポーツ大会 5月20日(土)
- ・視察研修(小諸市) 6月28日(水)、29日(木)
- ・障害者等団体懇談会 9月22日(金)

(4) 団体事業の育成

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めた。

上田地区 活動費助成団体

団体名	助成金額	団体名	助成金額
うえだ市民ふれあい広場実行委員会	200,000円	上田市聴覚障害者協会	110,000円
上田市子ども会育成連絡協議会	140,000円	上田地区更生保護女性会	250,000円
上田市視覚障害者福祉協会	100,000円	上田地区保護司会	120,000円
上田市肢体不自由児・者父母の会	100,000円	上田市赤十字奉仕団	100,000円
NPO法人上田市身体障害者福祉協会	280,000円	絵手紙サークルひまわり	50,000円
上田ボランティア連絡協議会	200,000円	上小手話サークル	130,000円
上田地域福寿クラブ連合会	300,000円	モチーフの会	70,000円
豊殿地区循環バス運営委員会	300,000円	点訳サークルでんでん虫の会	60,000円
シルバーバックの会	150,000円	上田明照会 甘露保育園	38,000円
		合計 18 団体	2,698,000円

丸子地区 活動費助成団体

丸子地域高齢者クラブ連合会	300,000円	丸子ボランティア連絡協議会	150,000円
上田市丸子身体障害者福祉協会	300,000円	傾聴ボランティア・まるこ	80,000円
丸子モチーフの会	50,000円	丸子地域食生活改善推進協議会	30,000円
Eキャップの会	50,000円		
		合計 7 団体	960,000円

真田地区 活動費助成団体

真田地域長寿会	30,000 円	障害のある人達の家族の会	30,000 円
真田町身体障害者福祉協会	30,000 円	おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000 円
NPO 法人野辺を渡る風のように	20,000 円	信州真田六文銭太鼓保存会	20,000 円
たまたま箱 (パネルシアター)	20,000 円	上田市真田地区赤十字奉仕団	40,000 円
ミミールの会 (民話紙芝居)	15,000 円	大福会 (茶道普及の会)	20,000 円
真田地域ボランティア連絡協議会	100,000 円	上田市真田地域食生活改善推進協議会	30,000 円
ふれあい広場実行委員会	100,000 円		
		合計 13 団体	485,000 円

武石地区 活動費助成団体

武石高齢者クラブ	191,000 円	武石身体障害者福祉協会	40,000 円
もみじ会 (1人暮らし老人の会)	90,000 円	武石ボランティア連絡協議会	19,000 円
		合計 4 団体	340,000 円

(5) その他

○シルバー人材センターとの連携

- ・ 総会 5月26日 (金)
- ・ 理事会 6月27日 (火)、7月28日 (金)、8月25日 (金)、9月26日 (火)、
10月27日 (金)、1月25日 (木)、2月23日 (金)、3月23日 (金)
- ・ 30周年記念式典 11月17日 (金)

○遺族会事務局

- ・ 役員総会 4月13日 (木)
- ・ 靖国神社参拝 4月27日 (水)、28日 (木)
- ・ 全国戦没者追悼式 8月15日 (火)
- ・ 長野県護国神社参拝 10月6日 (金)
- ・ 第65回長野県遺族大会 10月19日 (木)
- ・ 平成29年度長野県戦没者追悼式 10月20日 (金)
- ・ 平成29年度上田市戦没者追悼式・第61回上田市戦没者遺族大会
11月14日 (火)